LIXIL

ソラエルⅡ　ウィンスリーポートⅡ 架台編 取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●施工は必ず専門の工事業者の方が行なってください。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

＜施工の前に＞

※ソーラーパネルの設置条件は、太陽光が照射している時間に設置条件を確認することが重要です。障害物や向きによって、実際の発電量に影響がありますので、必ず事前にソーラー施工者に現場調査を依頼してください。

注意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●電気配線工事は「電気工事業法」、「電気工事士法」、「労働安全衛生規則」および「電気設備技術基準」にしたがってください。
●パワーコンディショナー設置工事は電気工事士が行なってください。
●設置場所の確認をしてください。
・施工場所の気象条件（風、雪など）に合った商品かどうか確認してください。
・建物の屋根からの雪の落下を、直接受けない位置かどうか確認してください。
・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
●給排水管などの地下埋設物に影響を与えないでください。
●傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込み深さを確保してください。

＜施工の前に　つづき＞

ポイント

●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
●接続箱は、海岸より飛散した海水が直接かかる地域（海岸線より50m程度）には設置しないでください。また、塩害のおそれにある地域（海岸線から１km以内）では、屋内に設置してください。

＜施工上のご注意＞

注 意

●ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
●風当たりの強い場所では、カーポートの周囲を囲わないようにしてください。風が抜けなくなり破損のおそれがあります。
●アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
●指定の箇所にシーリングをしてください。

ポイント

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
●竪樋の端末以降の排水については、当社供給範囲外になっていますので、施工店様または施主様で手配してください。

INDEX

【奥行傾斜の場合】 ※下記の手順で作業を行なってください。

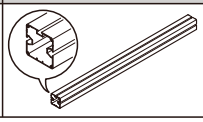
1　梱包明細表…… 4
2　基本寸法と各部名称…… 9
　1．各部名称…… 9
　2．基本寸法…… 11
3　フレーム部材配置図…… 13
4　奥行傾斜架台の取付け…… 16
　1．ベースフレームの組立て…… 16
　2．ベースフレームの取付け…… 20
　3．パネルフレーム側斜材の取付け…… 22
　4．幕板の取付け…… 24
　5．PV取付金具の仮止め…… 25
6　接続箱取付金具の仮置き…… 38
7　施工完了チェックリスト…… 39

【間口傾斜の場合】 ※下記の手順で作業を行なってください。

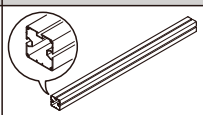
1　梱包明細表…… 4
2　基本寸法と各部名称…… 9
　1．各部名称…… 9
　2．基本寸法…… 11
3　フレーム部材配置図…… 13
5　間口傾斜架台の取付け…… 26
　1．ベースフレームの組立て…… 26
　2．ベースフレームの取付け…… 28
　3．サブパネルフレームの取付け…… 30
　4．斜材の取付け…… 32
　5．パネルフレームの取付け…… 34
　6．幕板の取付け…… 36
　7．PV取付金具の仮止め…… 37
6　接続箱取付金具の仮置き…… 38
7　施工完了チェックリスト…… 39

1　梱包明細表

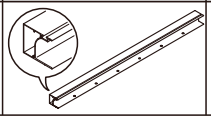
【1】パネルフレーム

名　　称	略　　図	員　数
パネルフレーム		1

【2】サブパネルフレーム

名　　称	略　　図	員　数
サブパネルフレーム		1

【3】ベースフレーム

名　　称	略　　図	員　数
ベースフレーム		1

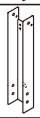
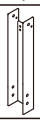
【4】サポートレッグ1奥行傾斜

名　　称	略　図	員　　数					
		30-55	30-60	55-55	55-60	60-55	60-60
サポートレッグ1		3	2	6	6	6	6

【5】サポートレッグ2奥行傾斜

名　　称	略　図	員　　数					
		30-55	30-60	55-55	55-60	60-55	60-60
サポートレッグ2 斜材取付加工穴 上		1	1	2	2	2	2
サポートレッグ2 斜材取付加工穴 下		2	2	2	2	2	2
サポートレッグ2 斜材取付加工穴 なし		–	–	2	2	2	2

【6】サポートレッグ3奥行傾斜

名　　称	略　図	員　　数					
		30-55	30-60	55-55	55-60	60-55	60-60
サポートレッグ3 斜材取付加工穴 上		1	1	2	2	2	2
サポートレッグ3 斜材取付加工穴 下		2	2	2	2	2	2
サポートレッグ3 斜材取付加工穴 なし		–	–	2	2	2	2

【7】サポートレッグ1間口傾斜

名　　称	略　図	員　　数					
		30-55 30-60		55-55 55-60		60-55 60-60	
		左傾斜	右傾斜	左傾斜	右傾斜	左傾斜	右傾斜
サポートレッグ1L		3	–	3	–	3	–
サポートレッグ 1R		–	3	–	3	–	3

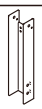
【8】サポートレッグ2間口傾斜

名　　称	略　図	員　　数					
		30-55 30-60		55-55 55-60		60-55 60-60	
		左傾斜	右傾斜	左傾斜	右傾斜	左傾斜	右傾斜
サポートレッグ 2L 斜材取付加工穴 なし		–	–	3	–	3	–
サポートレッグ 2R 斜材取付加工穴 なし		–	–	–	3	–	3

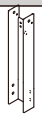
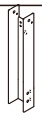
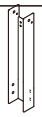
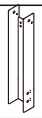
【9】サポートレッグ3間口傾斜

名　　称	略　図	員　　数					
		30-55 30-60		55-55 55-60		60-55 60-60	
		左傾斜	右傾斜	左傾斜	右傾斜	左傾斜	右傾斜
サポートレッグ 3L 斜材取付加工穴 上		–	–	2	–	2	–
サポートレッグ 3R 斜材取付加工穴 上		–	–	–	2	–	2
サポートレッグ 3L 斜材取付加工穴 なし		3	–	1	–	1	–
サポートレッグ 3R 斜材取付加工穴 なし		–	3	–	1	–	1

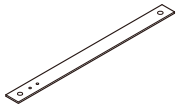
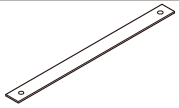
【10】サポートレッグ4間口傾斜

名　　称	略　図	員　　数					
		30-55 30-60		55-55 55-60		60-55 60-60	
		左傾斜	右傾斜	左傾斜	右傾斜	左傾斜	右傾斜
サポートレッグ 4L 斜材取付加工穴 なし		–	–	3	–	3	–
サポートレッグ 4R 斜材取付加工穴 なし		–	–	–	3	–	3

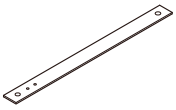
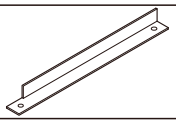
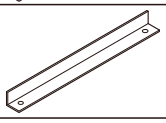
【11】サポートレッグ5間口傾斜

名　　称	略　図	員　　数					
		30-55 30-60		55-55 55-60		60-55 60-60	
		左傾斜	右傾斜	左傾斜	右傾斜	左傾斜	右傾斜
サポートレッグ 5L 斜材取付加工穴 上		2	–	2	–	2	–
サポートレッグ 5R 斜材取付加工穴 上		–	2	–	2	–	2
サポートレッグ 5L 斜材取付加工穴 なし		1	–	1	–	1	–
サポートレッグ 5R 斜材取付加工穴 なし		–	1	–	1	–	1

【12】斜材奥行傾斜

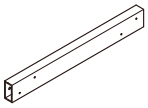
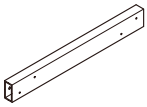
名　称	略　図	員　　数	
		ベースフレーム側	パネルフレーム側
斜材A		–	4
斜材B1		4	–

【13】斜材間口傾斜

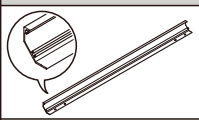
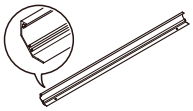
名　称	略　図	員　　数			
		ベースフレーム側		パネルフレーム側	
		間口 30	間口 55・60	間口 30	間口 55・60
斜材A		2	4 (※1)	–	–
斜材B1-1		–	–	1	2
斜材B1-2		–	–	1	2

※1　斜材Aは（長）2本・（短）2本が同梱されています。

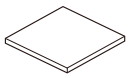
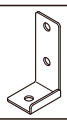
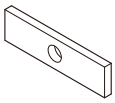
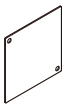
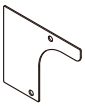
【14】連結帯

名　　称	略　図	員　　数					
		奥行傾斜			間口傾斜		
		間口30	間口55	間口60	間口30	間口55	間口60
連結帯A		2	2	2	–	–	–
連結帯B1		–	–	–	2	4	4

【15】幕板

名　　称	略　図	員　　数				
		間口30	間口55	間口60	奥行55	奥行60
幕板A		2	2	2	–	–
幕板B		–	–	–	2	2

【16】部品セット

名　　称	略　図	員　　数					
		奥行傾斜			間口傾斜		
		間口30	間口55	間口60	間口30	間口55	間口60
止水パッキン		42	78	87	42	78	87
パネルフレーム取付金具		–	–	–	18	36	36
サポートレッグ取付金具		18	36	36	18	30	30
パネルフレーム裏板		22	44	44	38	70	70
パネルフレーム端部キャップA		6	12	12	12	18	18
ベースフレーム端部キャップ		6	6	6	6	6	6
幕板端部キャップ		4	4	4	4	4	4
連結帯端部キャップ		4	4	4	4	8	8

【16】部品セット（つづき）

名　　称	略　図	員　数					
		奥行傾斜			間口傾斜		
		間口30	間口55	間口60	間口30	間口55	間口60
アース金具		9	18	18	9	18	18
PV取付金具（中間）		6	24	24	6	24	24
PV取付金具（端部）		12	12	12	12	12	12
仮止めテープ		1	1	1	1	1	1
取付説明書〈D564〉	–	1	1	1	1	1	1
取扱説明書〈UD117〉	–	1	1	1	1	1	1
【16-1】M8×20六角ボルト		82	160	160	114	200	200
【16-2】M8×35六角ボルト		18	36	36	18	36	36
【16-3】M8平座金		142	276	276	172	300	300
【16-4】M8バネ座金		100	196	196	132	236	236
【16-5】M8六角ナット		78	152	152	94	166	166
【16-6】φ4×16ナベドリルネジ		106	176	176	116	182	182
【16-7】M8×25六角ボルト		2	–	–	2	2	2
【予備】M8×20六角ボルト		4	6	6	6	8	8
【予備】M8×35六角ボルト		1	2	2	1	2	2
【予備】M8平座金		6	9	9	7	12	12
【予備】M8バネ座金		5	8	8	7	12	12
【予備】M8六角ナット		4	6	6	5	8	8
【予備】φ4×16ナベドリルネジ		7	9	9	8	9	9

【17】接続箱取付金具　オプション

名　称	略　図	員　数	
		間口30	間口55・60
接続箱取付金具A		2	2
接続箱取付金具B1		1	–
接続箱取付金具B2		–	1
接続箱取付金具（※1）		1	–
接続箱取付金具フタ（※1）		1	–

【17】接続箱取付金具（つづき）　オプション

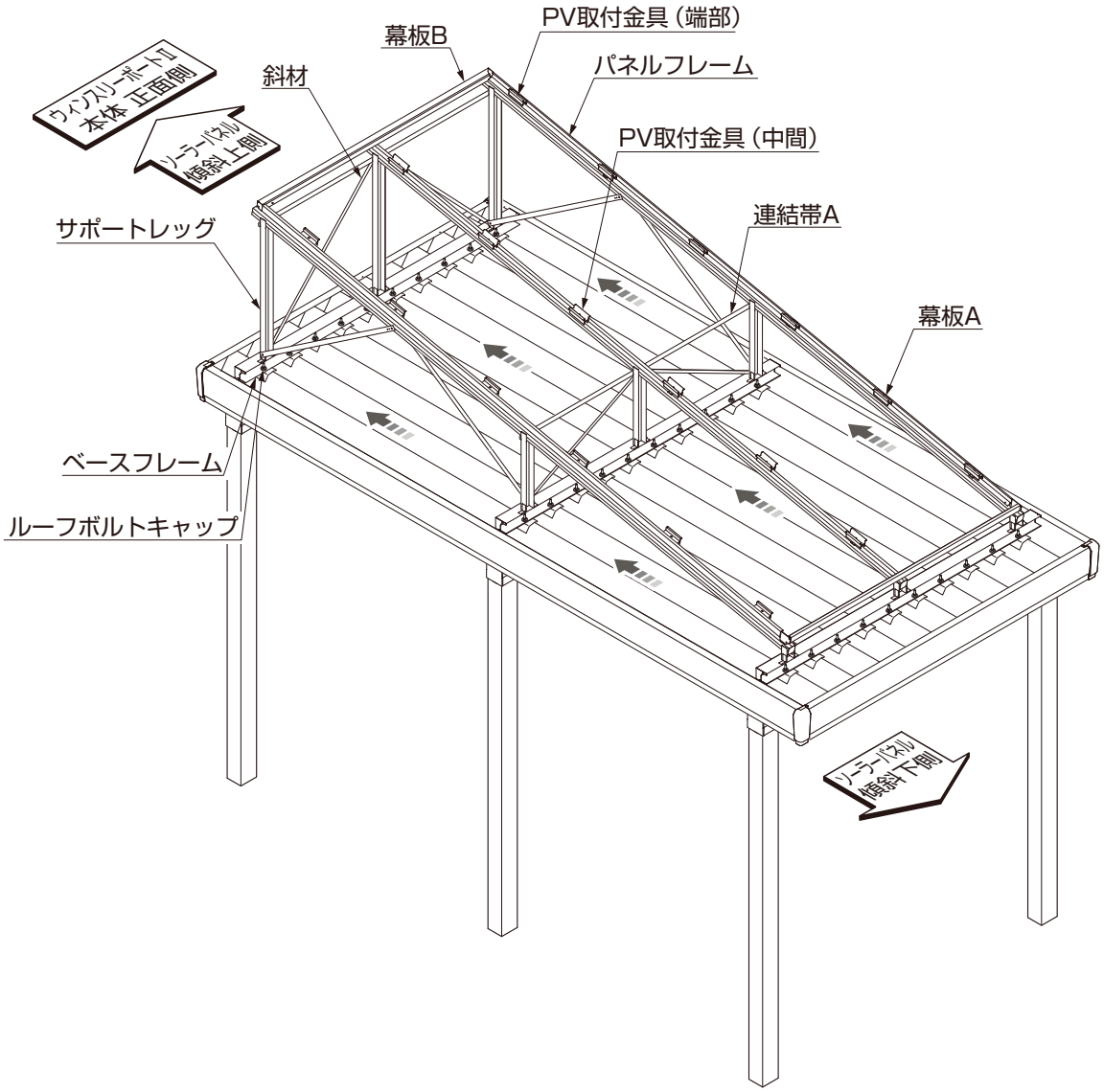
名　称	略　図	員　数	
		間口30	間口55・60
接続箱取付金具用 端部カバー（※1）		2	–
【17-1】φ4×19ナベドリルネジ		4	4
【17-2】φ4×13ナベドリルネジ		4（※1）	–
【17-3】M4×20ナベ小ネジ		2	2
【17-4】M4×16ナベ小ネジ		2	2
【17-5】M4六角袋ナット		2	2
【17-6】φ4×25ナベドリルネジ		2（※1）	–

※1　ソラエルⅡ　ウィンスリーポートⅡでは使用しません。

2　基本寸法と各部名称

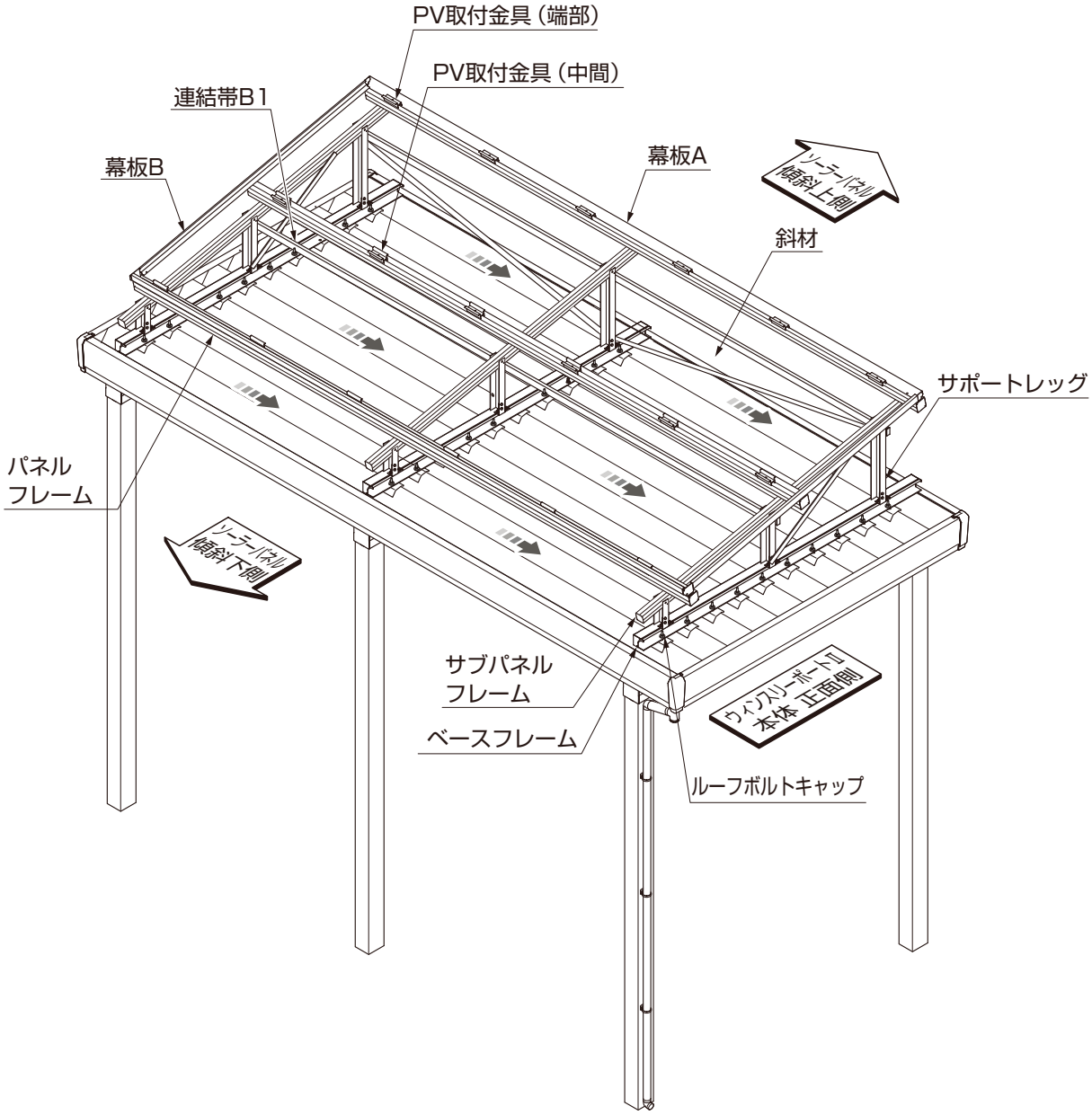
1. 各部名称

1-1　奥行傾斜　※図のソーラーパネルは、ウィンスリーポートⅡ本体正面側からみて「逆傾斜」を示します。



1.（つづき）

1-2 間口傾斜 ※図のソーラーパネルは、ウィンスリーポートⅡ本体正面側から見て「左傾斜」を示します。



2. 基本寸法

2-1 奥行傾斜

※図のソーラーパネルは、ウィンスリーポートⅡ本体正面側からみて「逆傾斜」を示します。

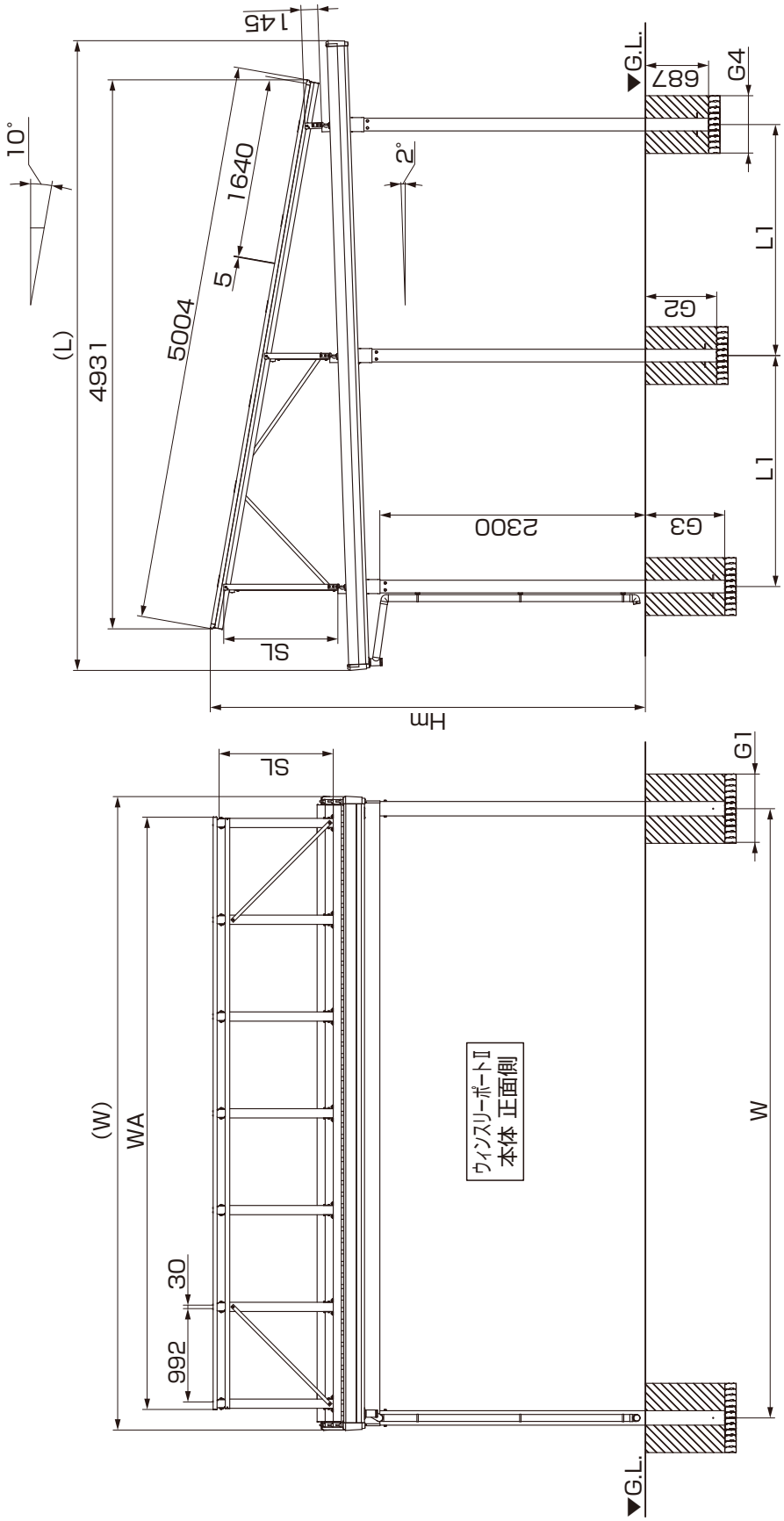


表2-1

呼称	W	L1	WA	SL 逆傾斜	SL 同傾斜	Hm 逆傾斜	Hm 同傾斜	G1	G2	G3	G4	(W)	(L)
30-55	2875	2000	2144	988.5	712	3719.5	3579.8	500	618	548	500	3084.2	5453.2
30-60	2875	2200	2144	1073	768.5	3768.2	3614.6	550	611	534	550	3084.2	6052.8
55-55	5275	2000	5210	988.5	712	3824.5	3684.8	750	618	548	750	5484.2	5453.2
55-60	5275	2200	5210	1073	768.5	3873.2	3719.6	800	611	534	800	5484.2	6052.8
60-55	5875	2000	5210	988.5	712	3824.5	3684.8	800	618	548	800	6084.2	5453.2
60-60	5875	2200	5210	1073	768.5	3873.2	3719.6	850	611	534	850	6084.2	6052.8

2-2 間口傾斜 ※図のソーラーパネルは、ウィンスリーポートⅡ本体正面側から見て「左傾斜」を示します。

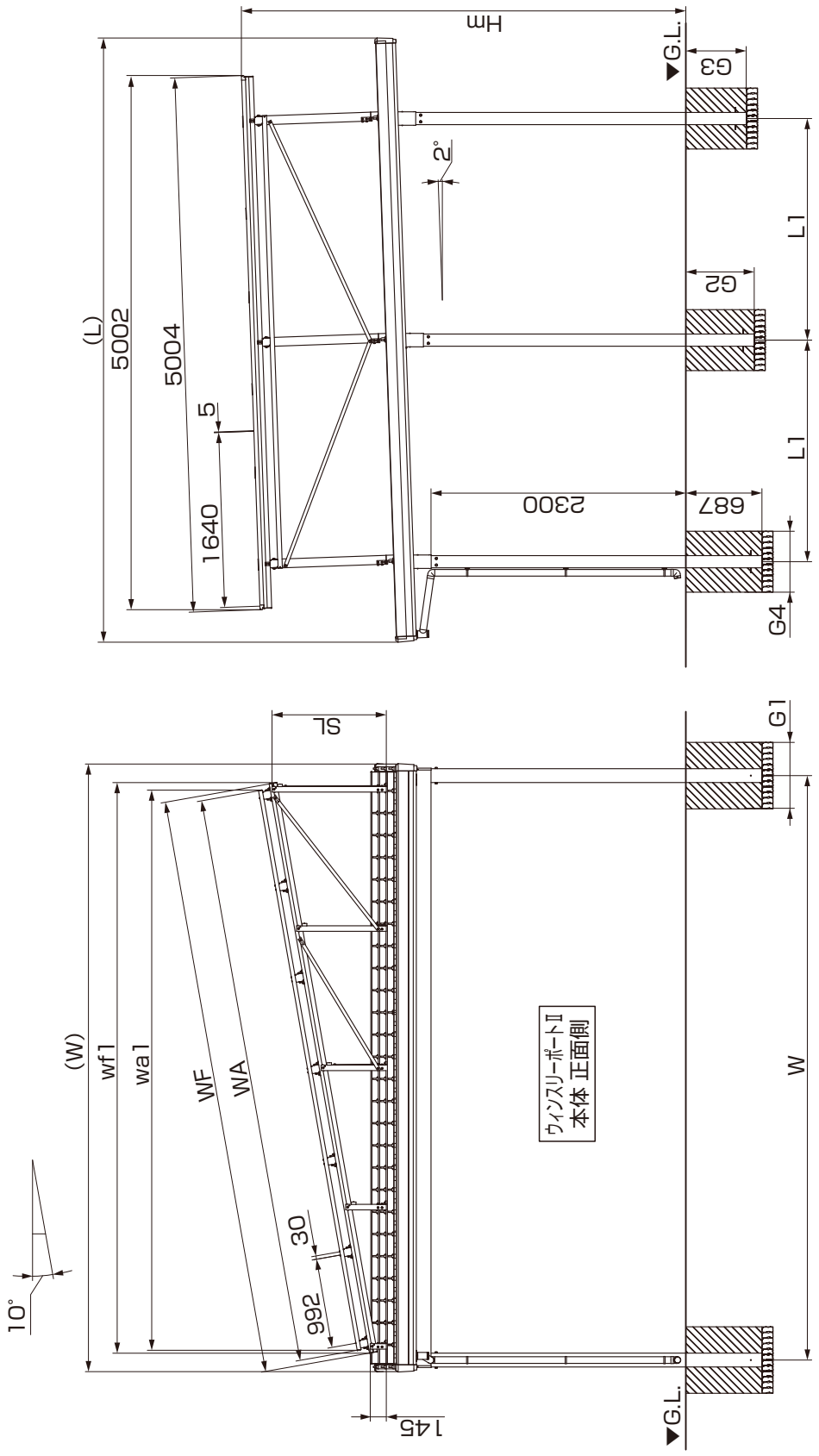


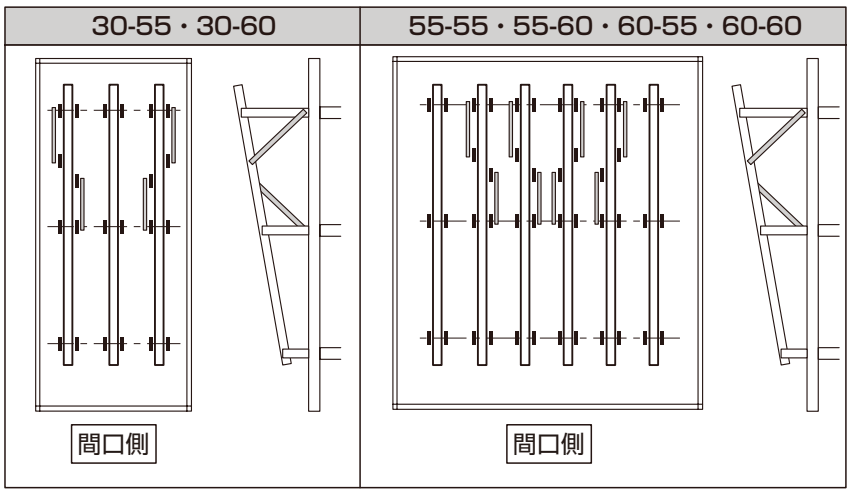
表2-2

呼称	W	L1	WA	wa1	WF	wf1	SL	Hm	G1	G2	G3	G4	(W)	(L)
30-55	2875	2000	2144	2117.7	2232	2210.4	505.5	3383.9	500	618	548	500	3084.2	5453.2
30-60	2875	2200	2144	2117.7	2232	2210.4	505.5	3390.9	550	611	534	550	3084.2	6052.8
55-55	5275	2000	5210	5137.1	5298	5229.8	1045.5	4028.6	700	618	548	700	5484.2	5453.2
55-60	5275	2200	5210	5137.1	5298	5229.8	1045.5	4035.6	800	611	534	800	5484.2	6052.8
60-55	5875	2000	5210	5137.1	5298	5229.8	1045.5	4028.6	750	618	548	750	6084.2	5453.2
60-60	5875	2200	5210	5137.1	5298	5229.8	1045.5	4035.6	850	611	534	850	6084.2	6052.8

3　フレーム部材配置図

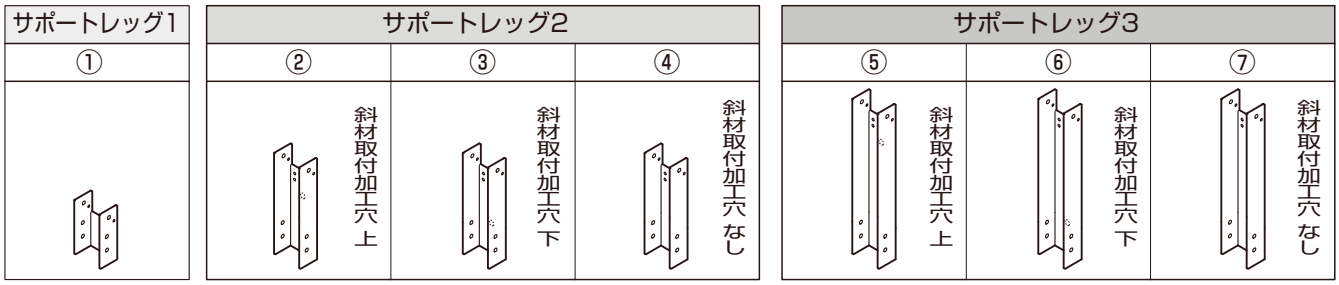
1-1　奥行傾斜

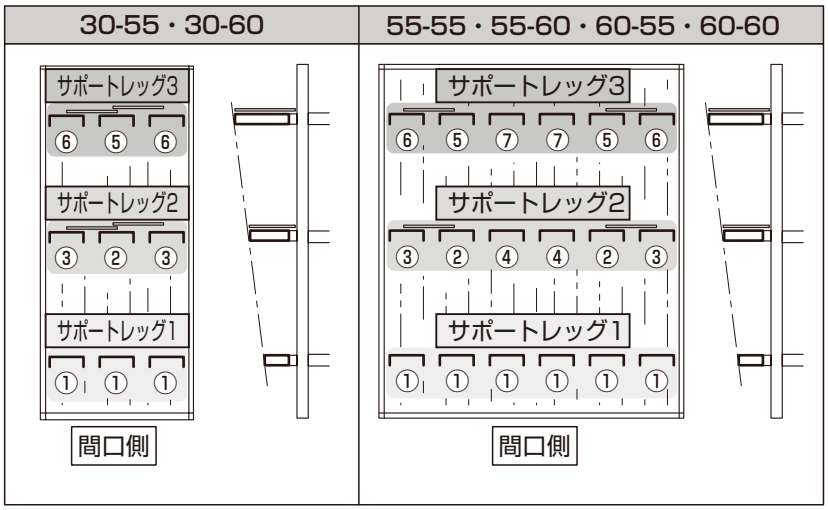
（1）パネルフレーム、斜材A、パネルフレーム裏板配置図



：パネルフレーム　：斜材A　：パネルフレーム裏板

（2）サポートレッグ、斜材B1配置図





：サポートレッグ　：斜材B1

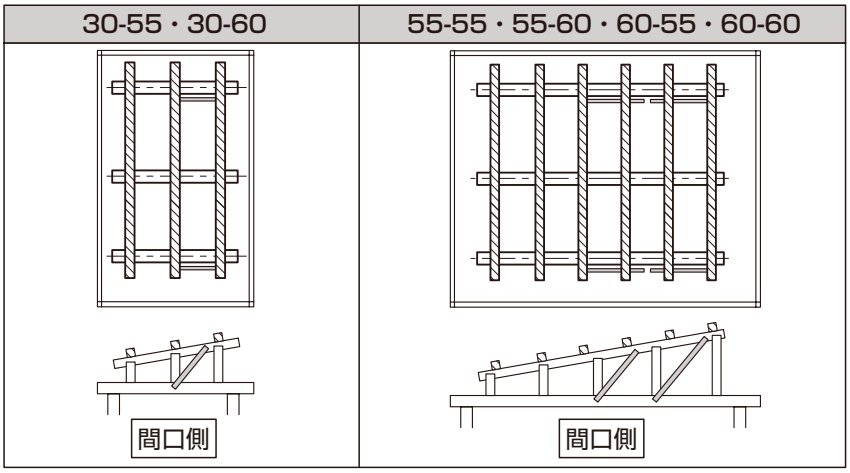
①上表を参照して、パネルフレーム、サポートレッグ、斜材、パネルフレーム裏板の取付け位置を確認してください。

注 意

●必ず斜材を取付けてください。強度低下を招くおそれがあります。

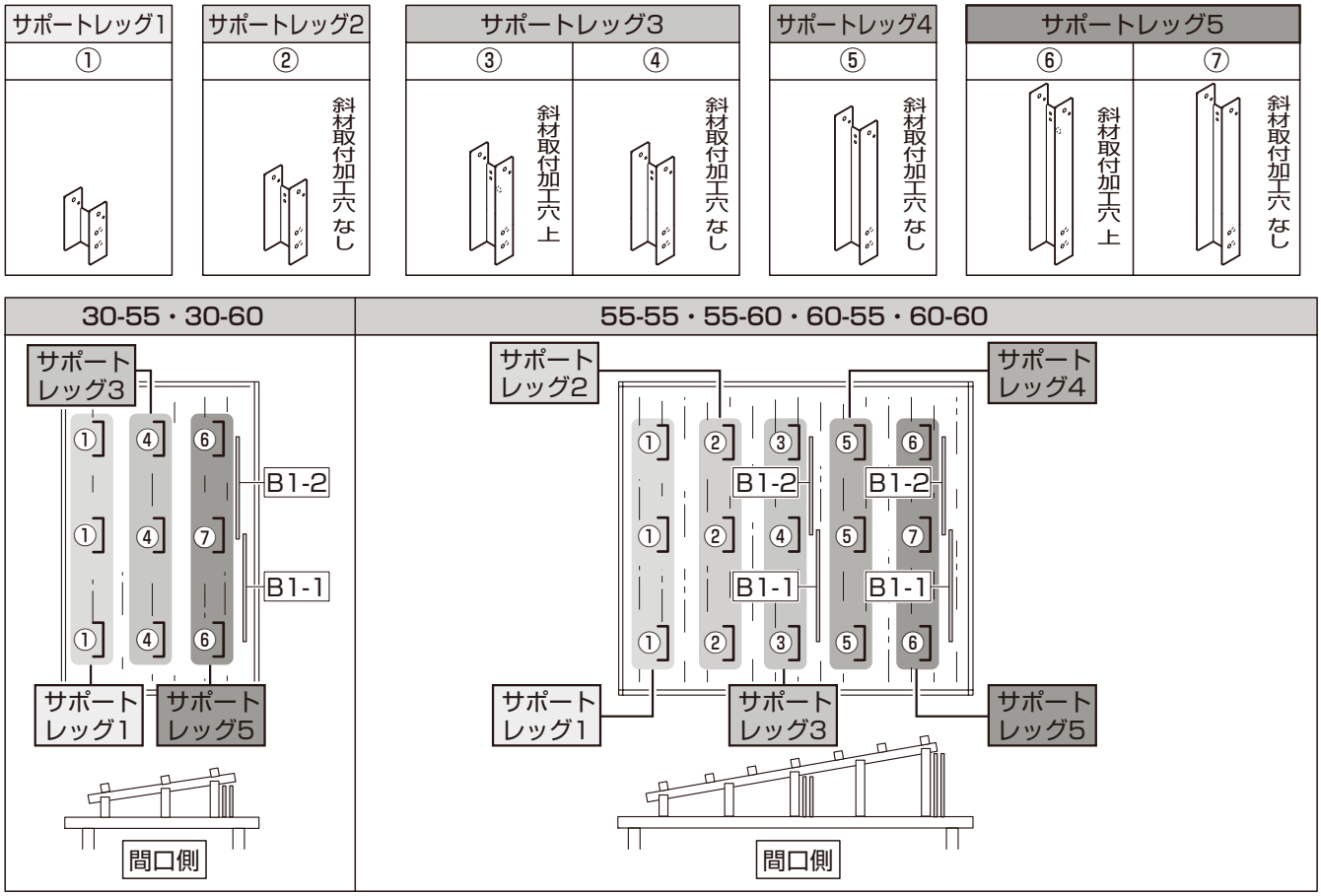
1-2 間口傾斜

（1）パネルフレーム、斜材A配置図



：パネルフレーム　：サブパネルフレーム　：斜材A

（2）サポートレッグ、斜材B1配置図



：サポートレッグ　：斜材 B1-1、B1-2

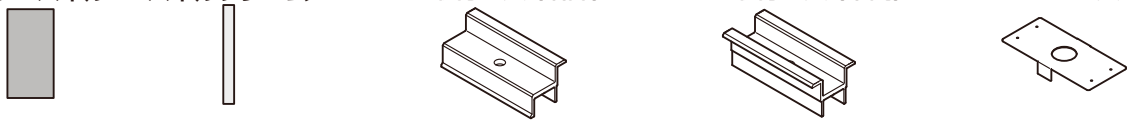
①上表を参照して、パネルフレーム、サブパネルフレーム、サポートレッグ、斜材の取付け位置を確認してください。

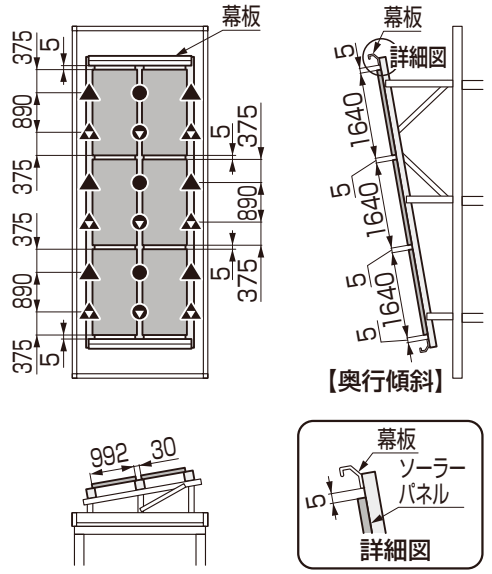
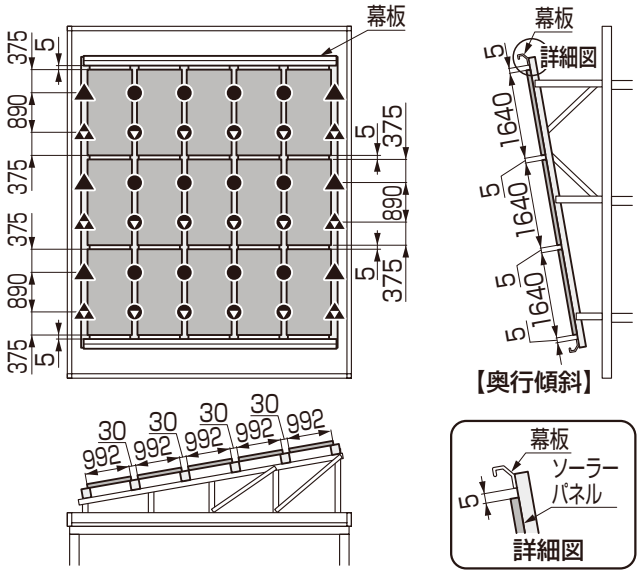
⚠ 注 意

●必ず斜材を取付けてください。強度低下を招くおそれがあります。

1-3 PV取付金具取付け位置

ソーラーパネル　パネルフレーム　▲：PV取付金具（端部）　●：PV取付金具（中間）　▽：アース金具



サイズ	30−55・30−60	55−55・55−60・60−55・60−60
ソーラーパネル配置		
ソーラーパネル枚数	6枚（Fサイズ：6枚）	15枚（Fサイズ：15枚）

①上表を参照してPV取付金具、アース金具の取付け位置を確認してください。

⚠ 注 意

●感電防止のため、アース金具は必ず取付けてください。

4　奥行傾斜架台の取付け

1. ベースフレームの組立て

1-1　ベースフレームの取付け準備

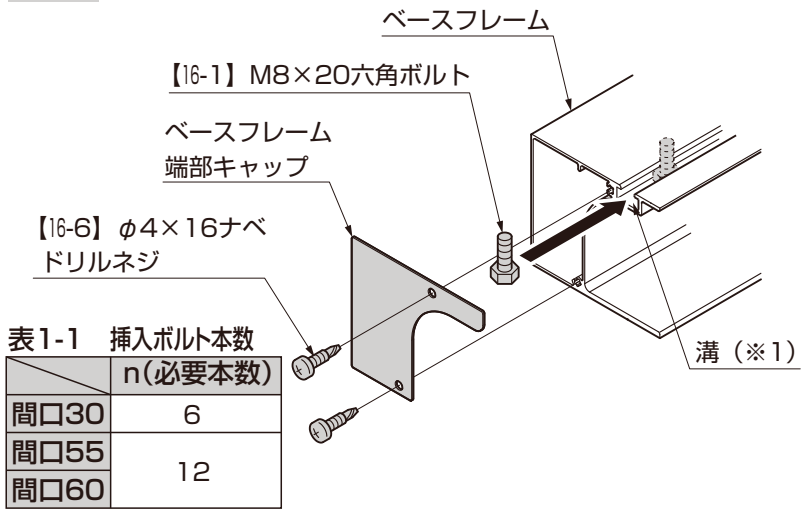
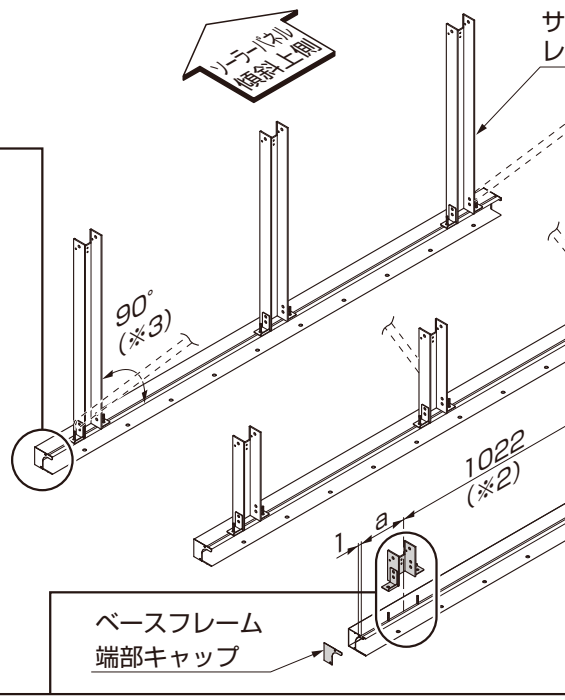


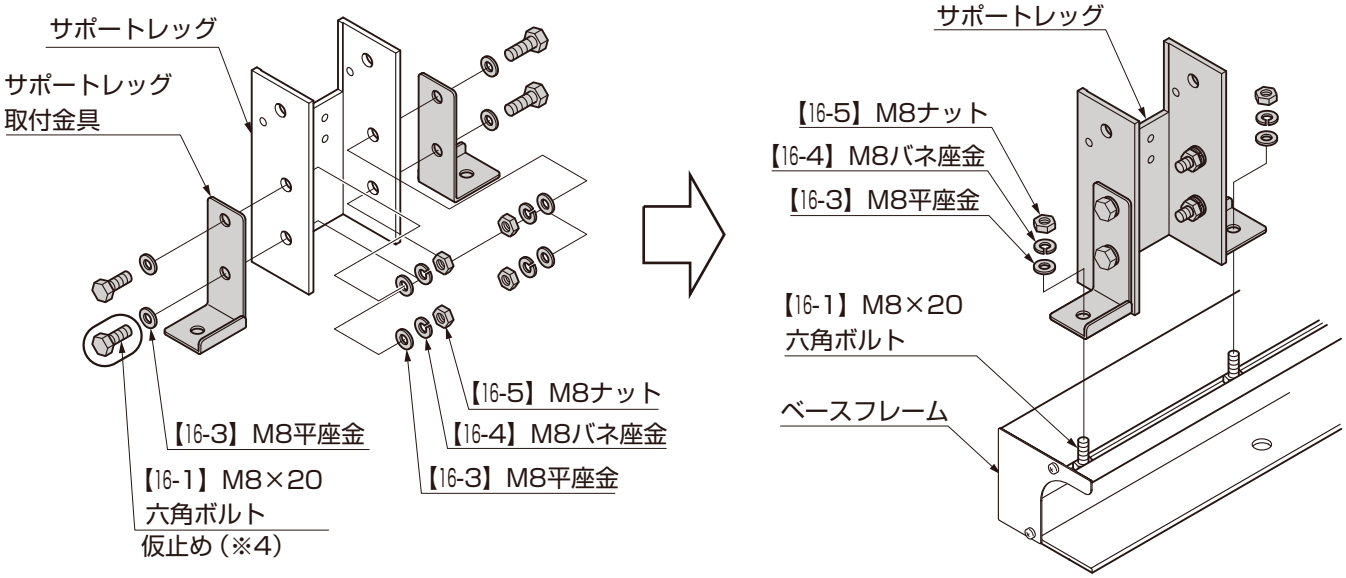
表1-1　挿入ボルト本数

	n(必要本数)
間口30	6
間口55	12
間口60	

①【16-1】をベースフレームの溝（※1）に必要本数挿入してください。（表1-1参照）
②ベースフレーム端部キャップをベースフレームに【16-6】で取付けてください。



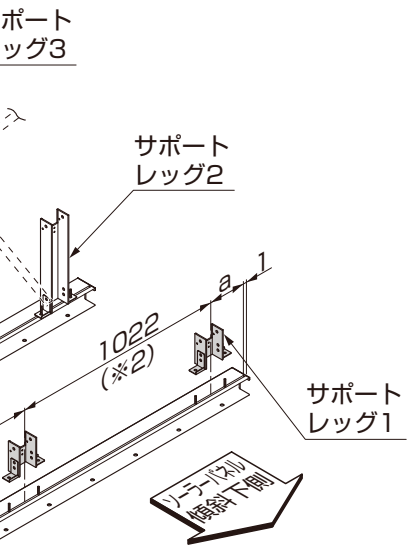
1-2　サポートレッグの取付け



①サポートレッグ取付金具をサポートレッグに【16-1】、【16-3】、【16-4】、【16-5】で取付けてください。
②サポートレッグをベースフレームに【16-1】、【16-3】、【16-4】、【16-5】で取付けてください。

ポイント

●サポートレッグの取付けピッチは必ず1022mm（※2）で取付けてください。ソーラーパネルが取付かなくなるおそれがあります。(表1-2参照)
●サポートレッグはベースフレームに90°（※3）になるように取付けてください。



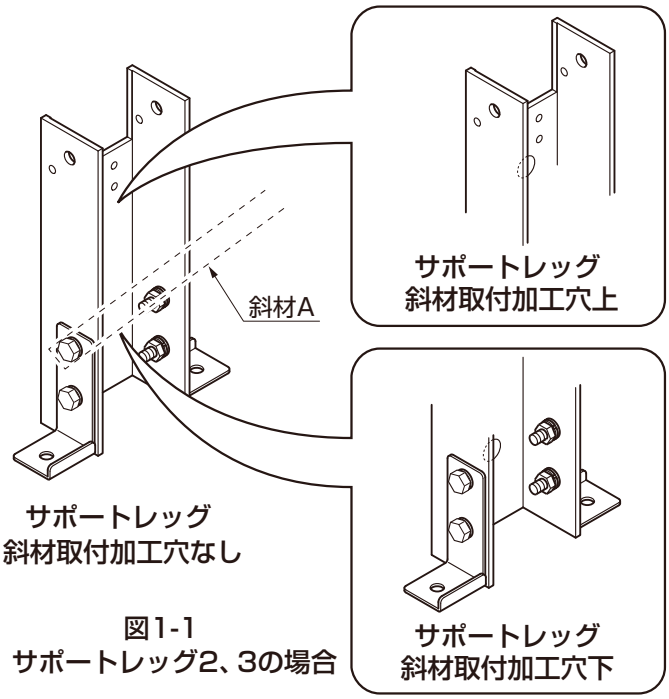


図1-1
サポートレッグ2、3の場合

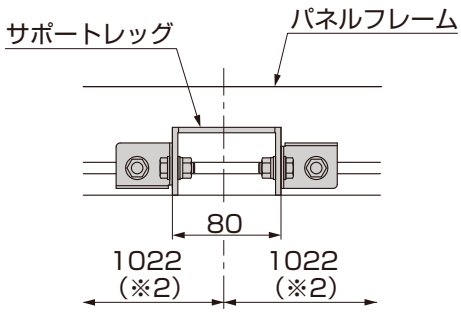


図1-2　上面図

表1-2　サポートレッグ端部の取付けa寸法

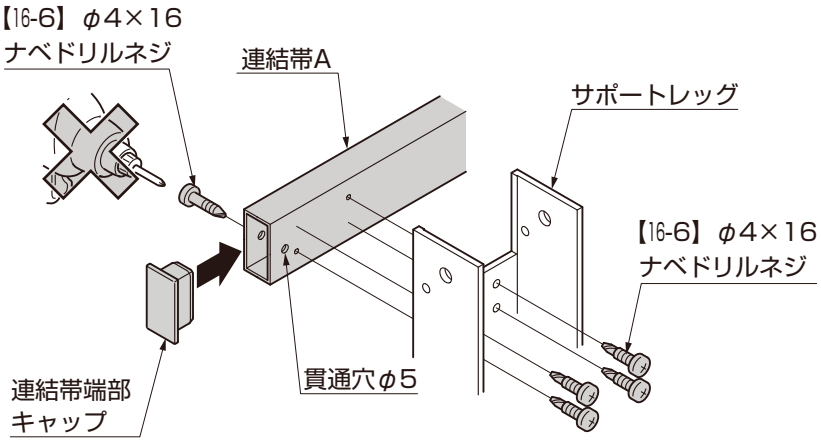
	a
間口30	448
間口55	115
間口60	418

ポイント

- サポートレッグ2、3には斜材取付加工穴の有無がありますので「3 フレーム部材配置図　1-1 奥行傾斜」を参照して取付け位置を確認してください。(図1-1参照)
- 斜材Aを取付けるボルト(※4)は後に取外しますので仮止めにしてください。
(「4 奥行傾斜架台の取付け　3. パネルフレーム側斜材の取付け　3-2 ボルトの取外し」参照)

1.（つづき）

1-3　連結帯の取付け



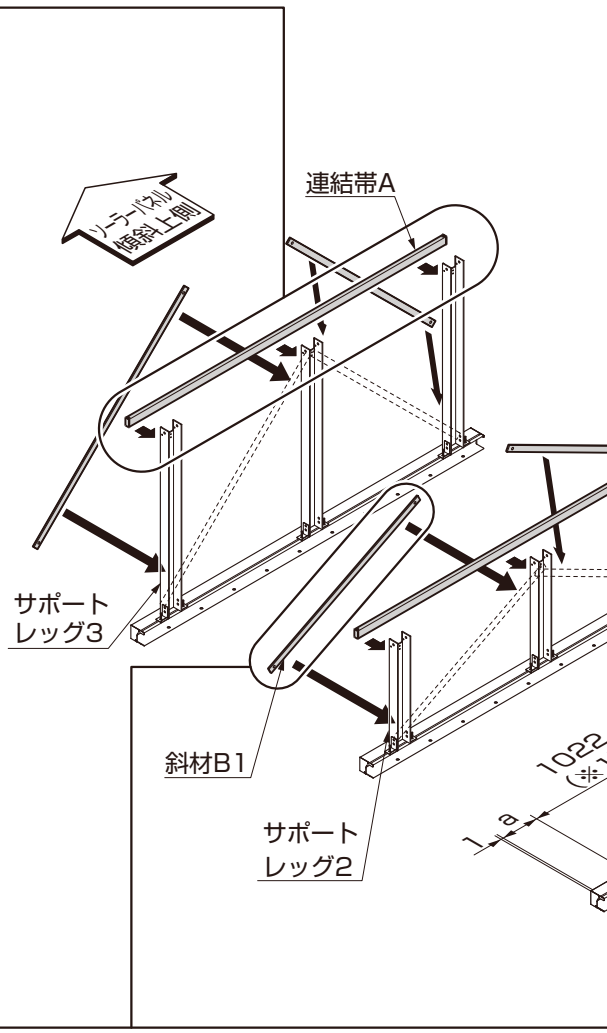
①連結帯端部キャップを連結帯Aの貫通穴φ5の片側に【16-6】で取付けてください。
②連結帯Aをサポートレッグ2､3に【16-6】で取付けてください。

ポイント

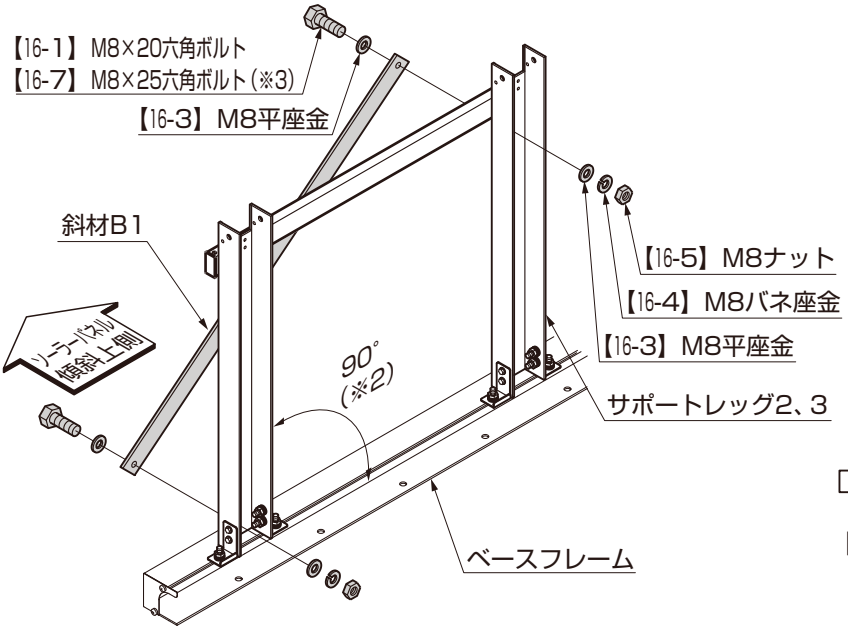
●再度サポートレッグのピッチが1022mm（※1）になっているか確認してください。ソーラーパネルが取付かなくなるおそれがあります。

補 足

●サポートレッグ1（部材高さ145mm）には連結帯Aは取付けません。
●連結帯端部キャップの取付けネジの締付けは電動工具を使用しないでください。



1-4　ベースフレーム側斜材の取付け



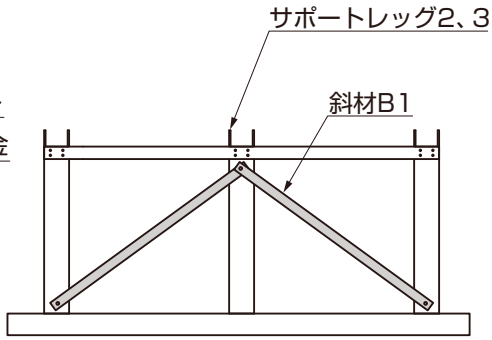
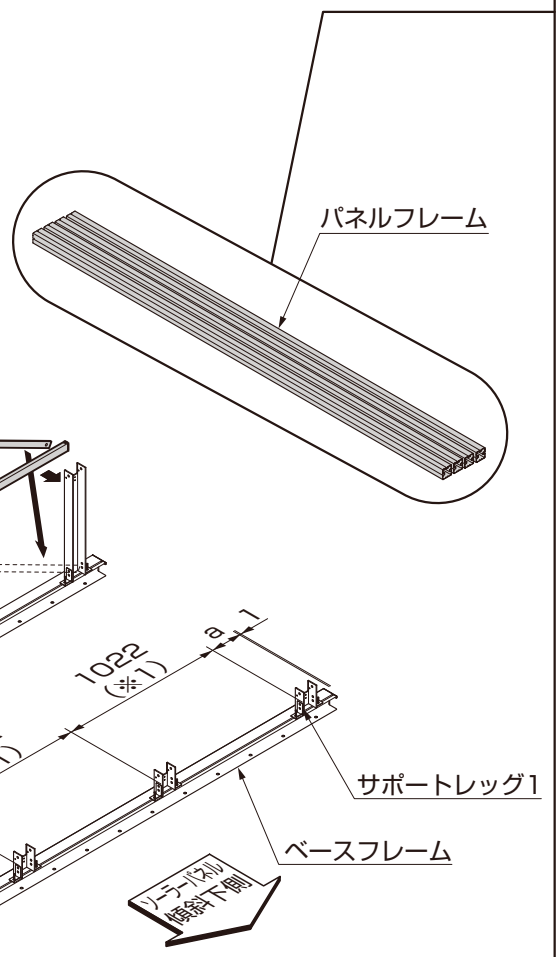


図1-3　サポートレッグ2・3の場合



①斜材B1をサポートレッグ2、3に【16-1】、【16-3】、【16-4】、【16-5】で取付けてください。

ポイント

- 再度、サポートレッグがベースフレームに対して、90°（※2）になっているか確認してください。
- W30の場合、上側のボルトは【16-7】を使用してください。（※3）

補 足

- サポートレッグ1（部材長さ145mm）には斜材B1は取付けません。

1-5 パネルフレームの組立て

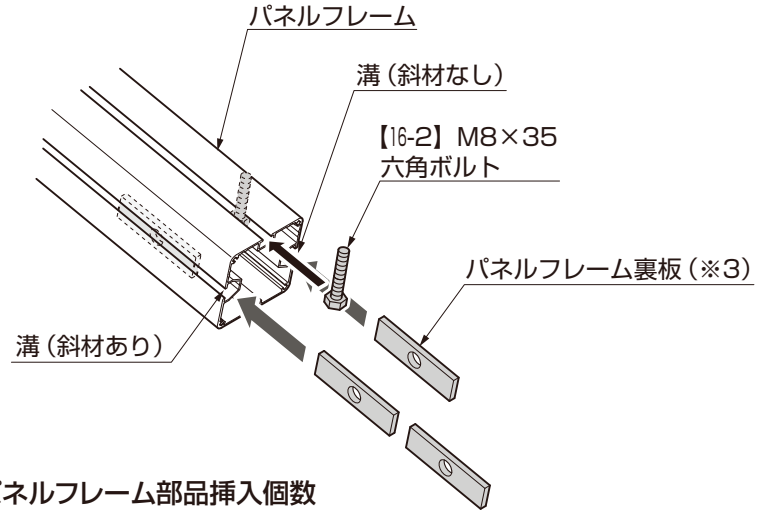


表1-3　パネルフレーム部品挿入個数

	パネルフレーム裏板（※3）	【16-2】M8×35 六角ボルト
斜材あり	4	6
斜材なし	3	

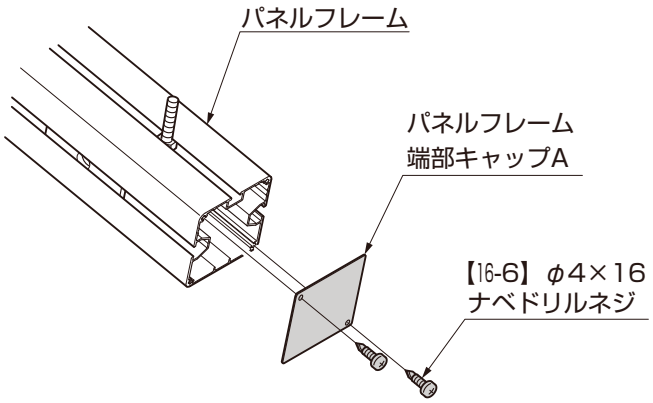
※3：溝1列あたりの数量です。パネルフレーム1本につき溝は2列あります。

①パネルフレーム裏板をパネルフレームの両側の溝に表1-3を参照して必要枚数を挿入してください。

②【16-2】をパネルフレームの上側に表1-3を参照して必要個数を挿入してください。

ポイント

- パネルフレームに取付ける斜材には有無がありますので「3 フレーム部材配置図　1-1 奥行傾斜」を参照して取付け位置を確認してください。

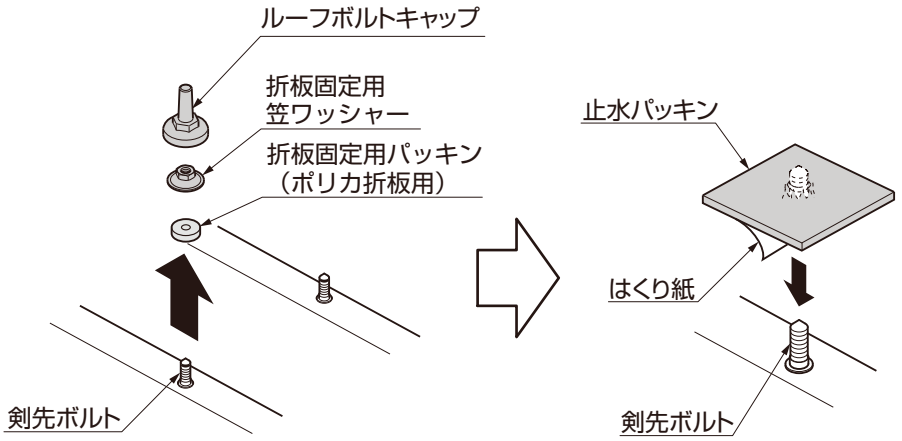


③パネルフレーム端部キャップAをパネルフレームに【16-6】で取付けてください。

2. ベースフレームの取付け

ソーラーパネル傾斜上側
パネルフレーム
水下側
ベースフレーム
止水パッキン
ソーラーパネル傾斜下側
水上側

2-1 止水パッキンの取付け



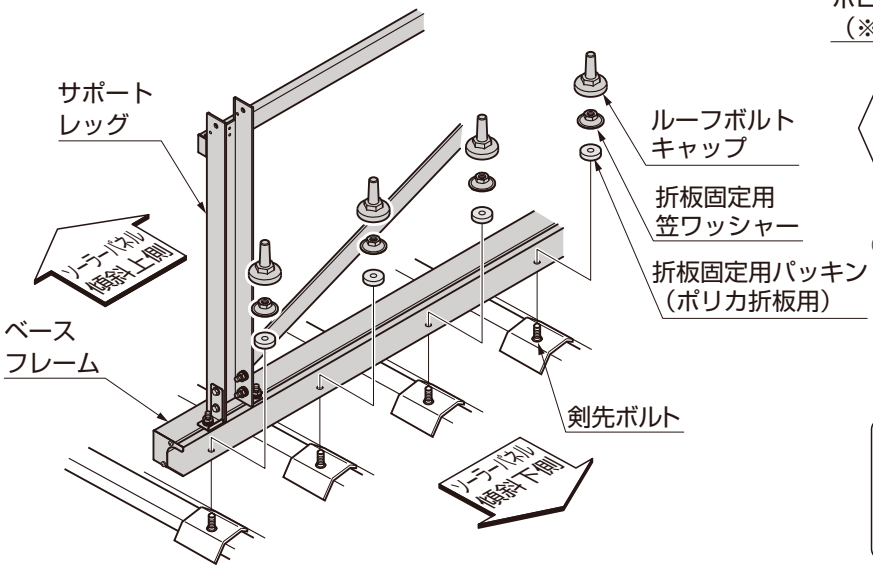
①ルーフボルトキャップ、折板固定用笠ワッシャー、折板固定用パッキンを取外してください。

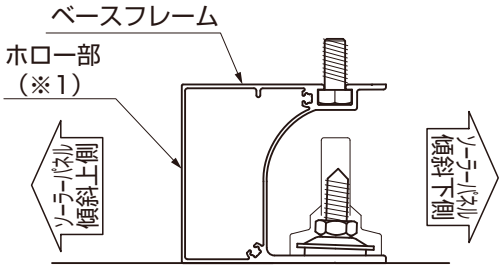
②止水パッキンのはくり紙を剥がして、剣先ボルトの先端に刺して貼付けてください。

補 足

●ルーフボルトキャップ、折板固定用笠ワッシャー、折板固定用パッキンは、ウィンスリーポートⅡ施工時に仮止めしてあります。

2-2 ベースフレームの取付け



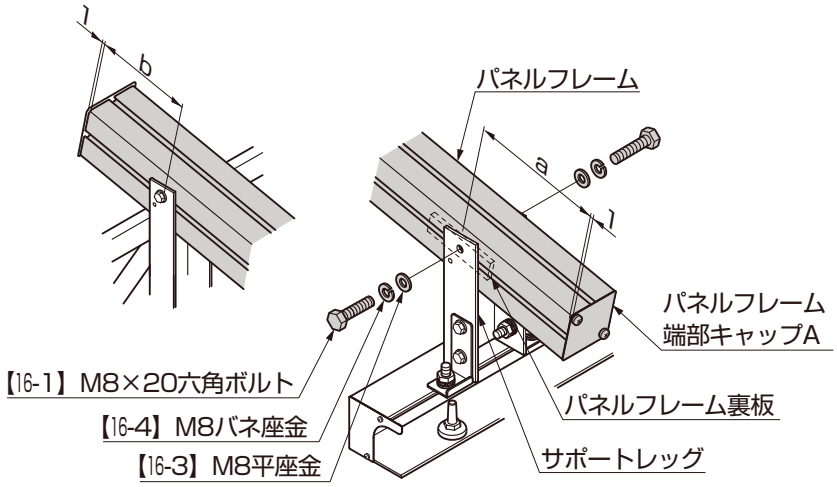


①ベースフレームを剣先ボルトにルーフボルトキャップ、折板固定用笠ワッシャー、折板固定用パッキンで取付けてください。

ポイント

● ベースフレームのホロー部（※1）がソーラーパネル傾斜上側になるように取付けてください。

2-3 パネルフレームの仮止め



①パネルフレームに挿入されているパネルフレーム裏板をサポートレッグに【16-1】、【16-3】、【16-4】で取付けてください。

表2-1　寸法表

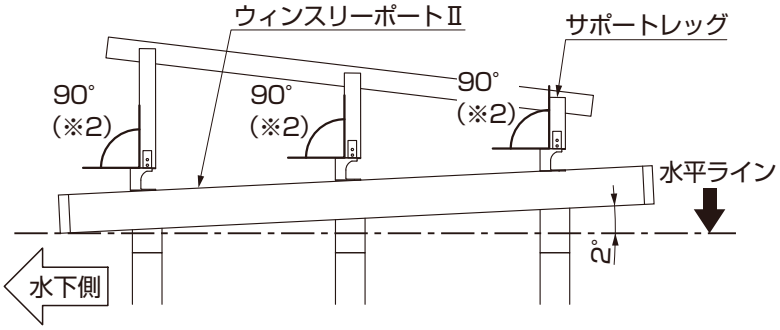
	a	b
奥行55	470	446
奥行60	270	240

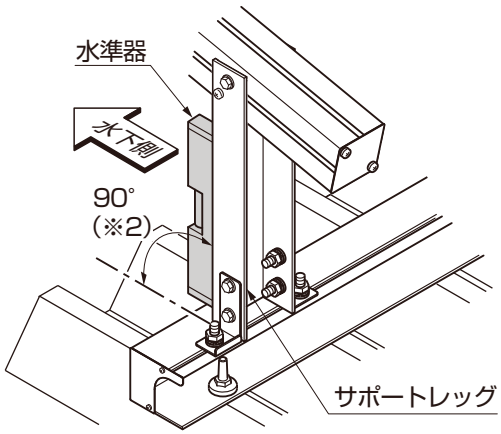
「b」は目安の寸法です。

ポイント

●パネルフレームを取付ける際は、パネルフレーム裏板を斜材取付け位置に移動してから取付けてください。

2-4 サポートレッグの垂直確認

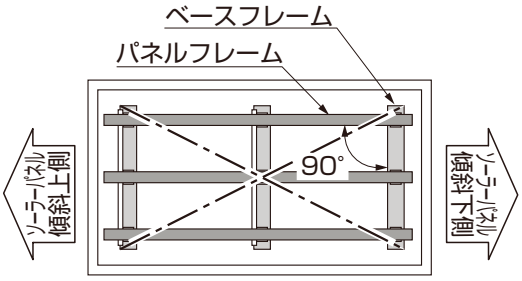




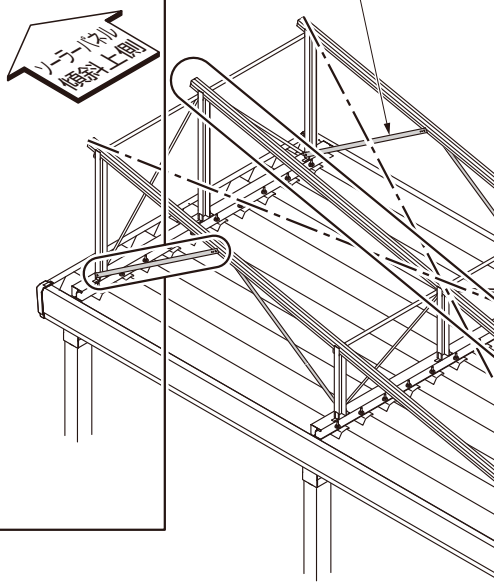
①水平ラインに対してサポートレッグが垂直になっているかを水準器などで確認してください。（※2）

3. パネルフレーム側斜材の取付け

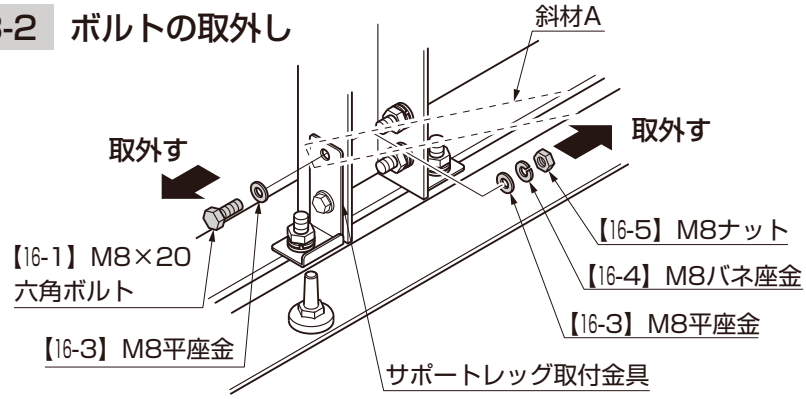
3-1 架台の対角出し



①架台寸法の対角寸法を採寸し、ベースフレームとパネルフレームの直角を確認してください。



3-2 ボルトの取外し

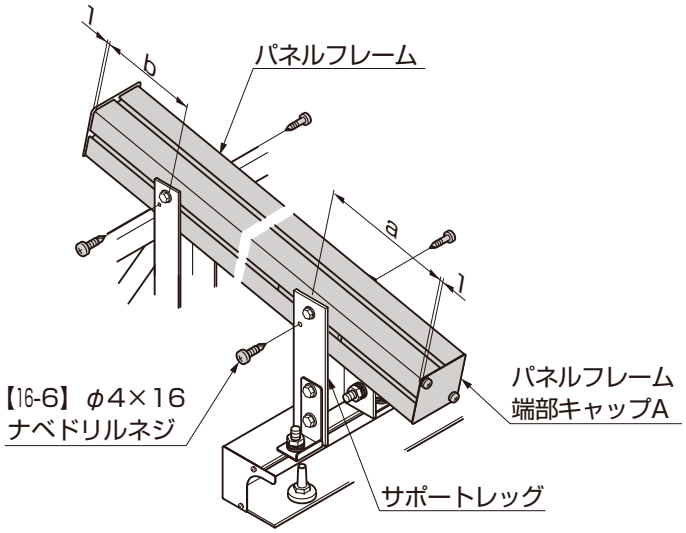


①斜材を取付けるサポートレッグ取付金具の上側の【16-1】、【16-3】、【16-4】、【16-5】を取外してください。

ポイント

●斜材を取付けるパネルフレームは「3 フレーム部材配置図 1-1 奥行傾斜」を参照してください。

3-3 パネルフレームの本固定

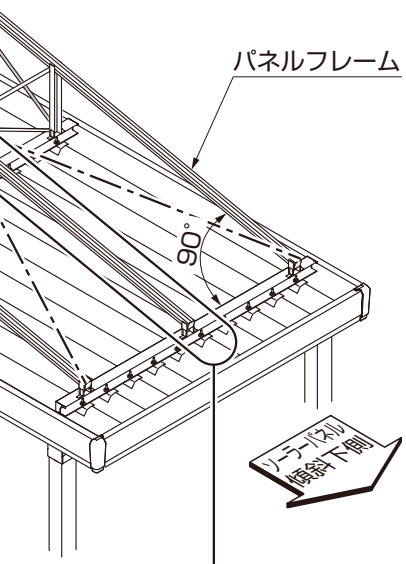


①パネルフレームのa寸法、またはb寸法を調整してサポートレッグに【16-1】で取付けてください。

表3-1　寸法表

	a	b
奥行55	470	446
奥行60	270	240

「b」は目安の寸法です。



3-4 パネルフレーム側斜材の取付け

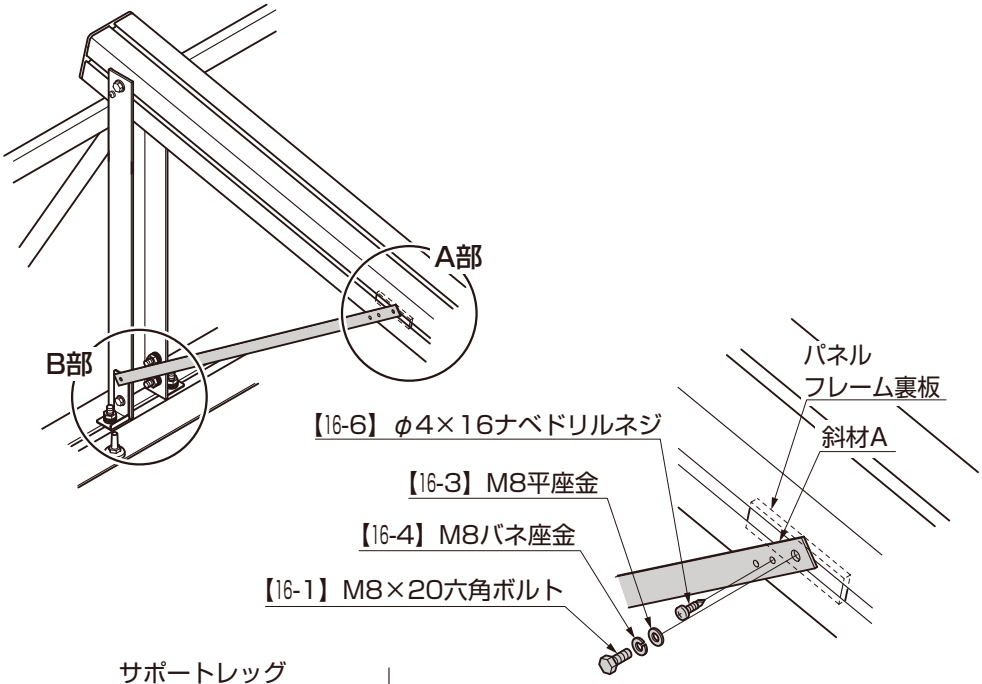


図3-1　A部斜材上部の取付け

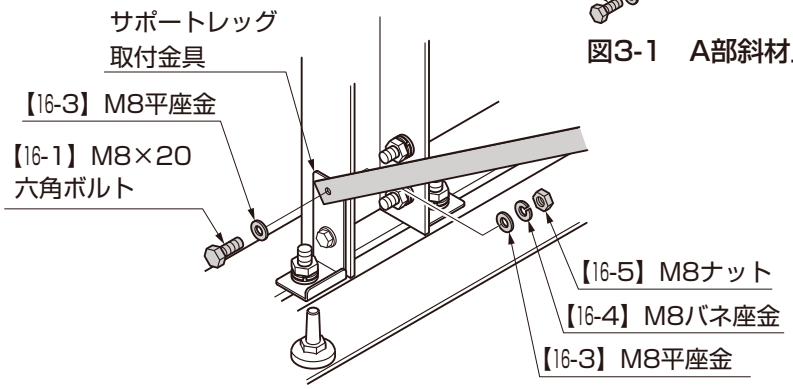


図3-2　B部斜材下部の取付け

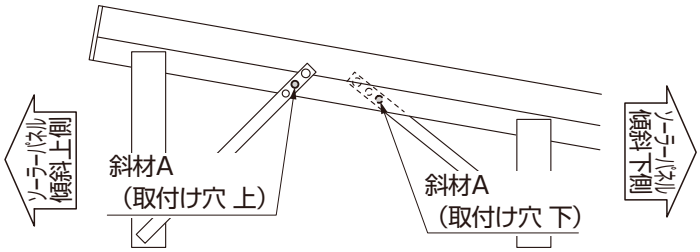


図3-3　【16-1】取付け位置

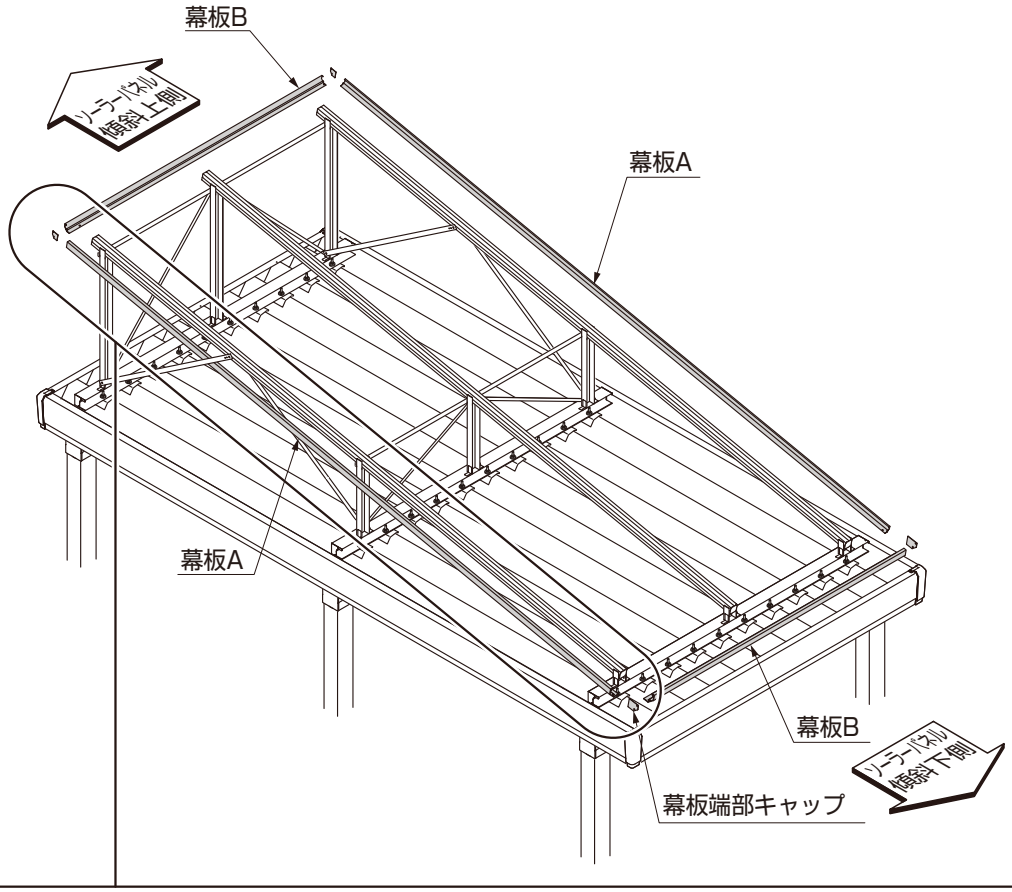
①斜材A下側をサポートレッグ取付金具に【16-1】、【16-3】、【16-4】、【16-5】で取付けてください。（図3-2参照）

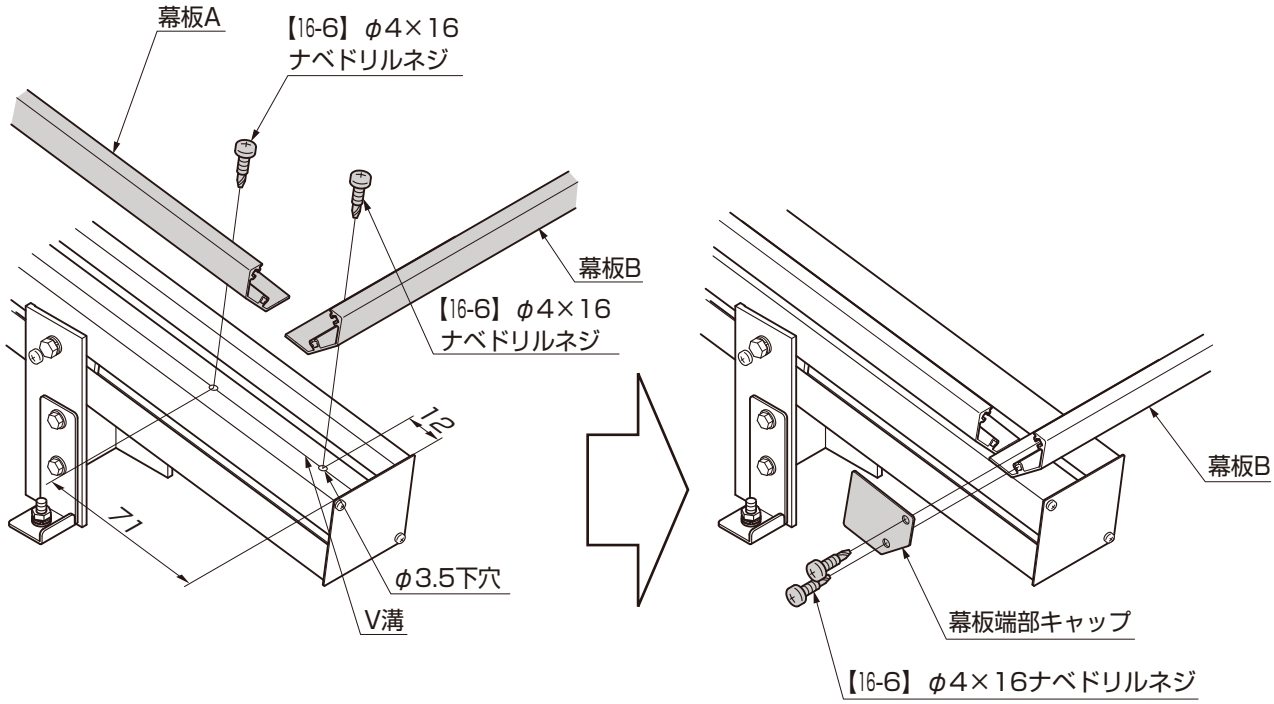
②斜材A上側をパネルフレームに組付けた、パネルフレーム裏板に【16-1】、【16-3】、【16-4】、【16-6】で取付けてください。（図3-1参照）

ポイント

●斜材Aをパネルフレームと取付ける【16-6】は「傾斜上側」と「傾斜下側」で位置が異なります。（図3-3参照）

4. 幕板の取付け





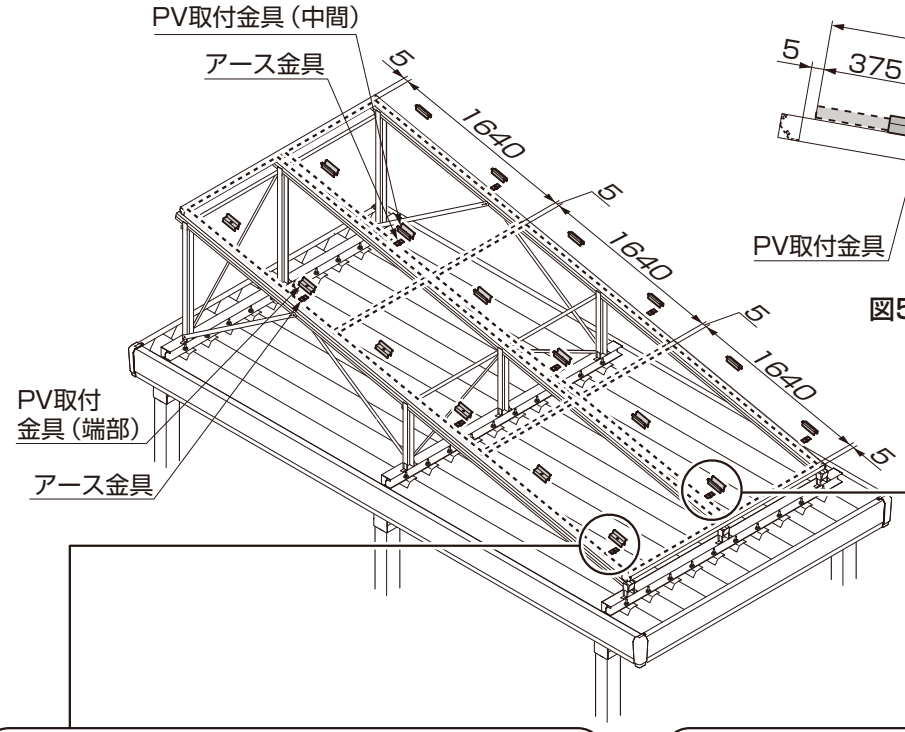
①パネルフレームにφ3.5の下穴加工をしてください。
②幕板A、幕板Bをパネルフレームに【16-6】で取付けてください。
③幕板端部キャップを幕板Bに【16-6】で取付けてください。

5. PV取付金具の仮止め

※本手順は架台を取付ける施工者とソーラーパネル施工者が異なる場合に部品の紛失を防止するための作業です。

ポイント

●PV取付金具、アース金具の取付位置は「3 フレーム部材配置図 1-3 PV取付金具取付け位置 」を参照して取付けてください。



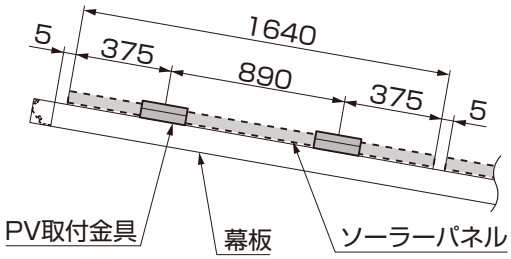


図5-1　奥行方向取付寸法

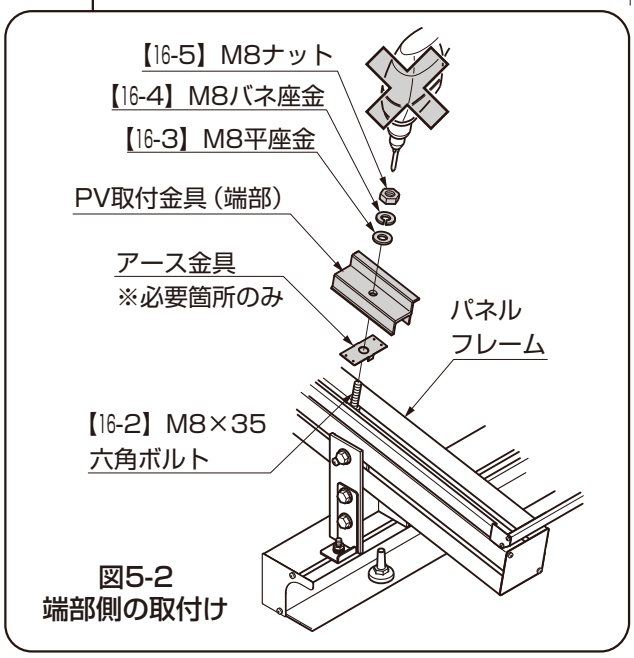


図5-2
端部側の取付け

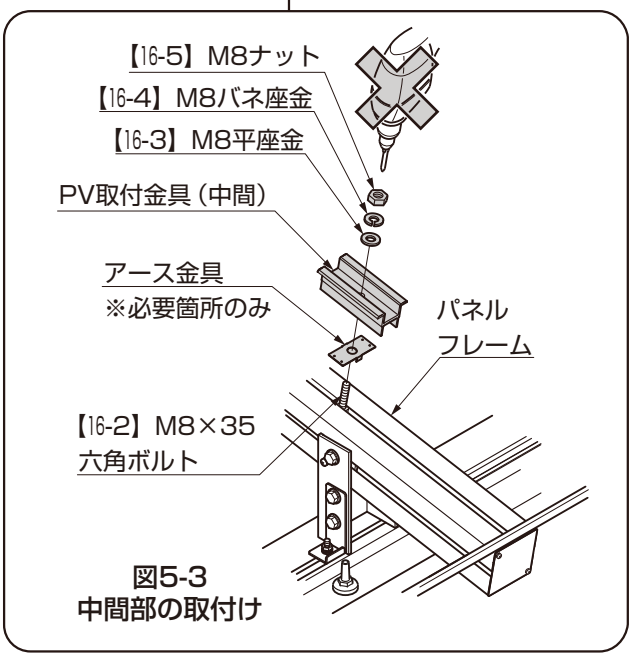


図5-3
中間部の取付け

①PV取付金具、アース金具をパネルフレームに挿入した【16-2】に【16-3】、【16-4】、【16-5】で取付けてください。

注 意

●感電防止のため、アース金具は必ず取付けてください。

補 足

●PV取付金具はソーラーパネルを取付けるため、仮止めとしてください。電動工具は使用しないでください。

5　間口傾斜架台の取付け

1. ベースフレームの組立て　※図は、間口30タイプを示します。

1-1　ベースフレームの取付け準備

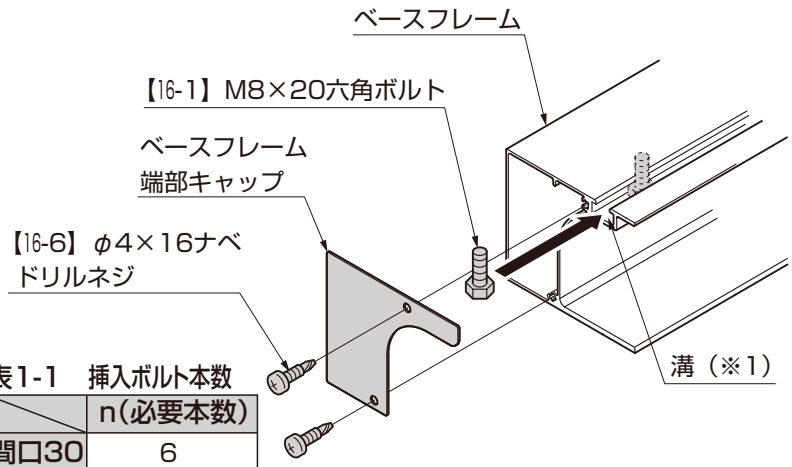
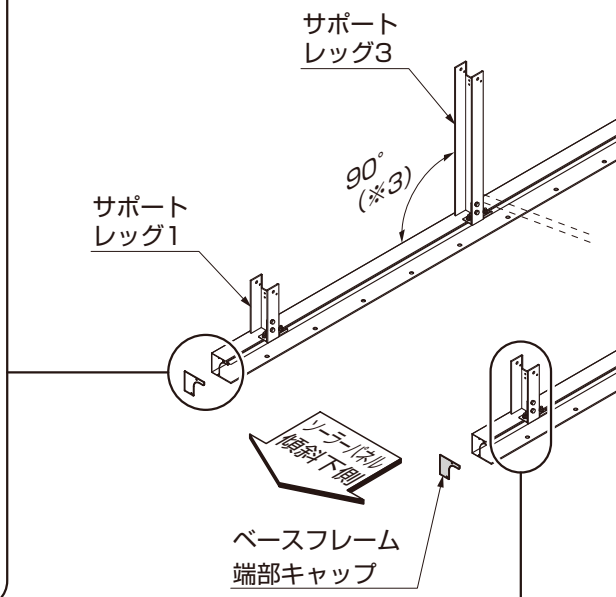


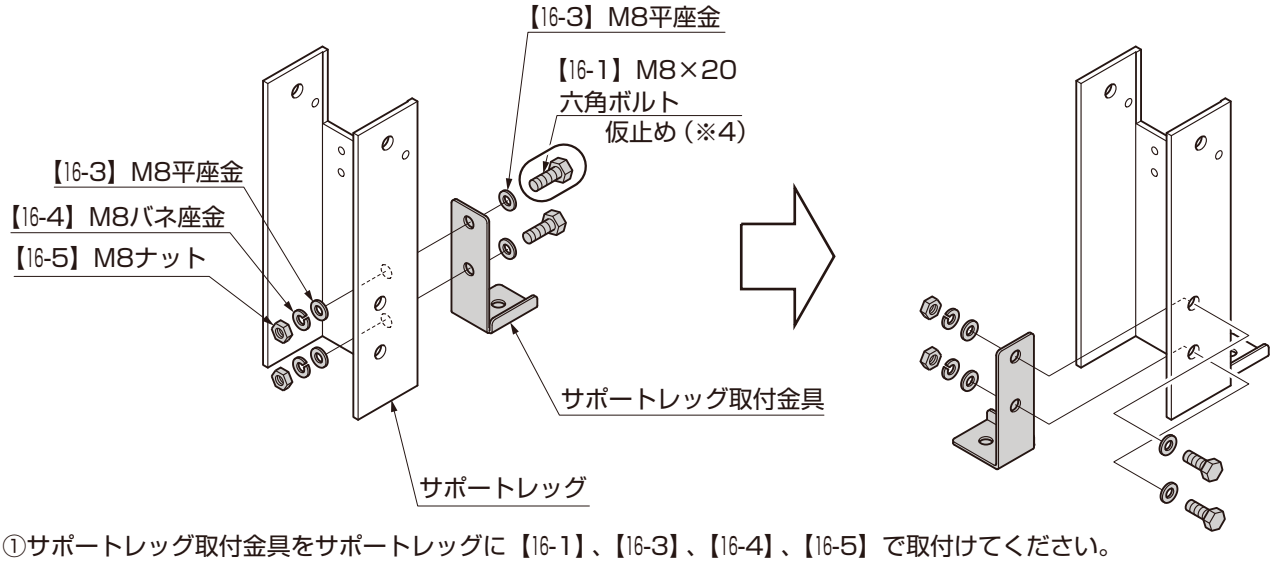
表1-1　挿入ボルト本数

	n(必要本数)
間口30	6
間口55 間口60	10

①【16-1】をベースフレームの溝（※1）に必要本数挿入してください。（表1-1参照）
②ベースフレーム端部キャップをベースフレームに【16-6】で取付けてください。



1-2　サポートレッグの取付け



①サポートレッグ取付金具をサポートレッグに【16-1】、【16-3】、【16-4】、【16-5】で取付けてください。

ポイント

●サポートレッグの取付けピッチは必ず表1-2のピッチ（※2）にて取付けてください。ソーラーパネルが取付かなくなるおそれがあります。
●サポートレッグはベースフレームに90°（※3）になるように取付けてください。

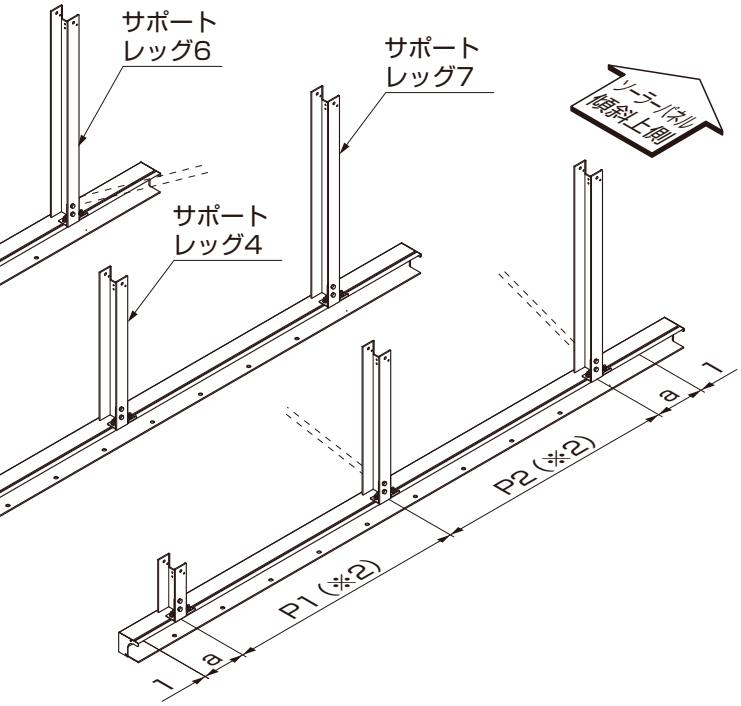


表1-2　サポートレッグ取付けピッチ

	P1（※2）	P2（※2）	P3（※2）	P4（※2）
間口30	1022	1022	–	–
間口55	1257	1257	1297	1297
間口60				

※間口55・60は、サポートレッグが間口側に5箇所のため、4ピッチ（P1～4）となります。

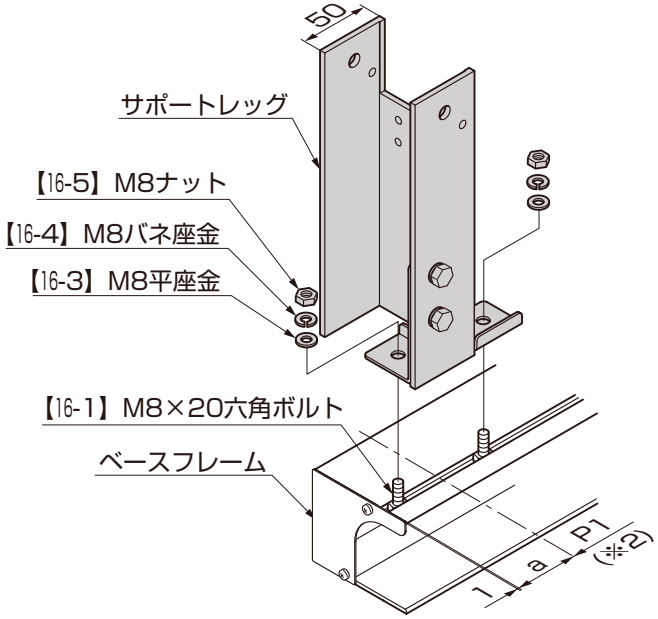


表1-3　サポートレッグ取付けa寸法

	a
間口30	448
間口55	116
間口60	419

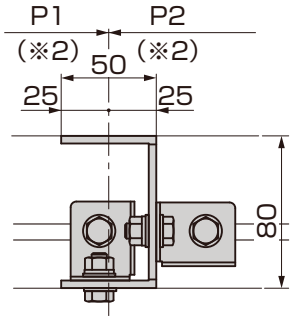
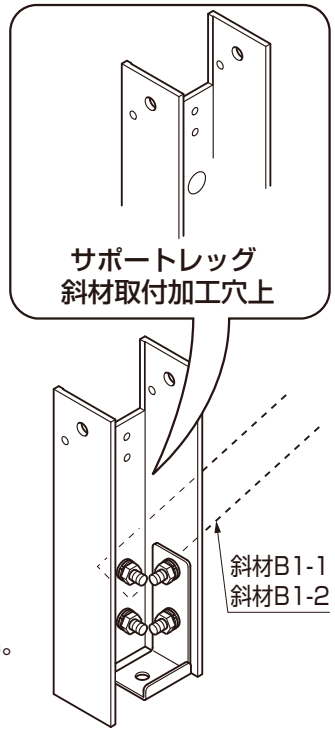


図1-1　上面図



サポートレッグ
斜材取付加工穴なし

②サポートレッグをベースフレームに【16-1】、【16-3】、【16-4】、【16-5】で取付けてください。

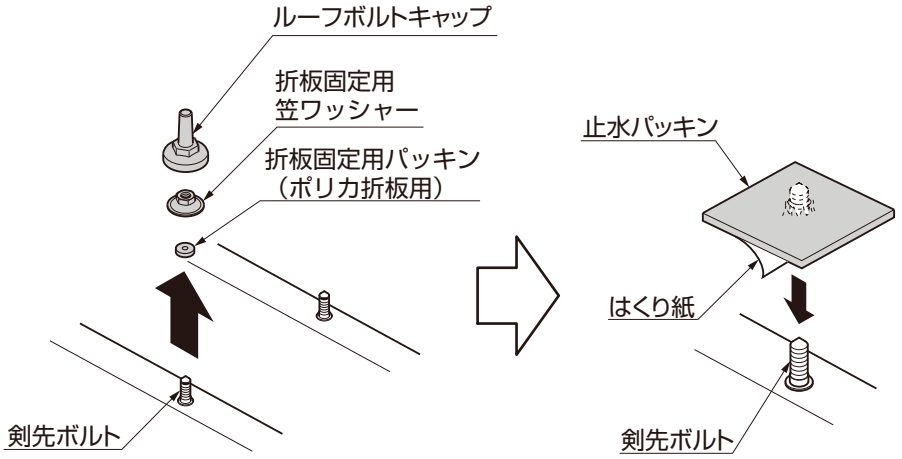
ポイント

●サポートレッグ3、5には斜材取付加工穴の有無がありますので「3 フレーム部材配置図 1-2 間口傾斜」を参照して取付け位置を確認してください。
●斜材Bを取付けるボルト（※4）は後に取外しますので仮止めにしてください。

2. ベースフレームの取付け　※図は、間口30タイプを示します。

ベースフレーム
サポートレッグ
90°（※2）
90°（※2）
90°（※2）
ソーラーパネル傾斜上側
連結帯B1
水上側
止水パッキン
ソーラーパネル傾斜下側
水下側

2-1　止水パッキンの取付け



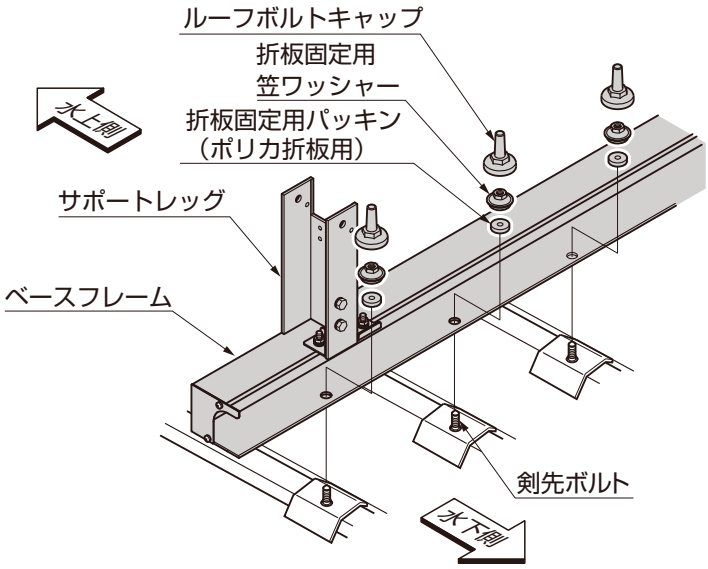
①ルーフボルトキャップ、折板固定用笠ワッシャー、折板固定用パッキンを取外してください。

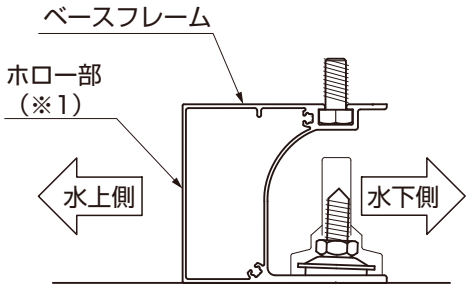
②止水パッキンのはくり紙を剥がして、剣先ボルトの先端に刺して貼付けてください。

補足

●ルーフボルトキャップ、折板固定用笠ワッシャー、折板固定用パッキンは、ウィンスリーポートⅡ施工時に仮止めしてあります。

2-2 ベースフレームの取付け



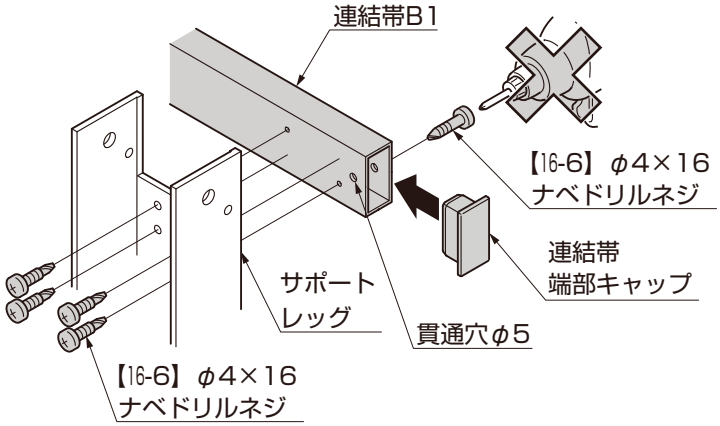


①ベースフレームを剣先ボルトにルーフボルトキャップ、折板固定用笠ワッシャー、折板固定用パッキンで取付けてください。

ポイント

●ベースフレームのホロー部（※1）がカーポートの水上側になるように取付けてください。

2-3 連結帯の取付け

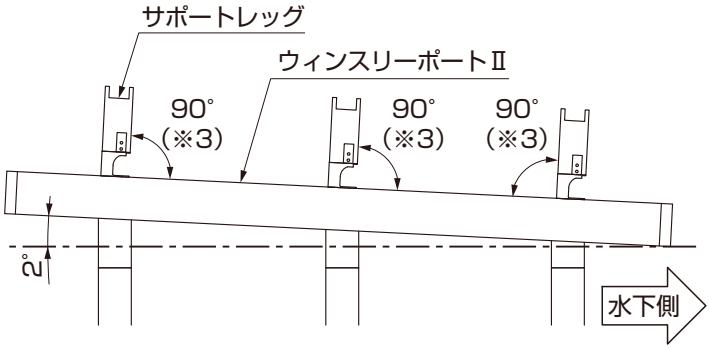


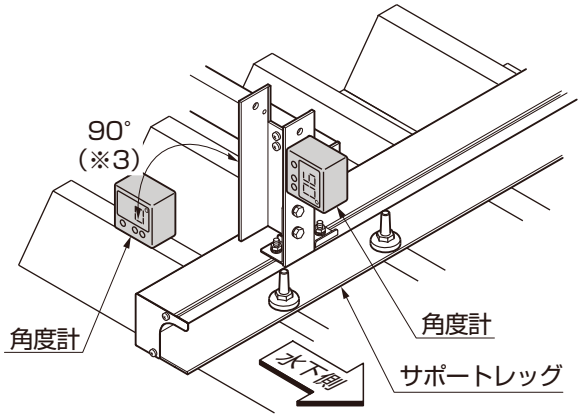
①連結帯端部キャップを連結帯B1の貫通穴φ5の片側に【16-6】で取付けてください。
②連結帯をサポートレッグに【16-6】で取付けてください。

ポイント

●連結帯B1は、最下段のサポートレッグ1には、取付けしません。
●再度サポートレッグのピッチを確認してください。ソーラーパネルが取付けできなくなるおそれがあります。
●連結帯B1がサポートレッグに対して直角（※2）になっているか確認してください。
●連結帯端部キャップの取付けネジの締付けは電動工具を使用しないでください。

2-4 サポートレッグの垂直確認

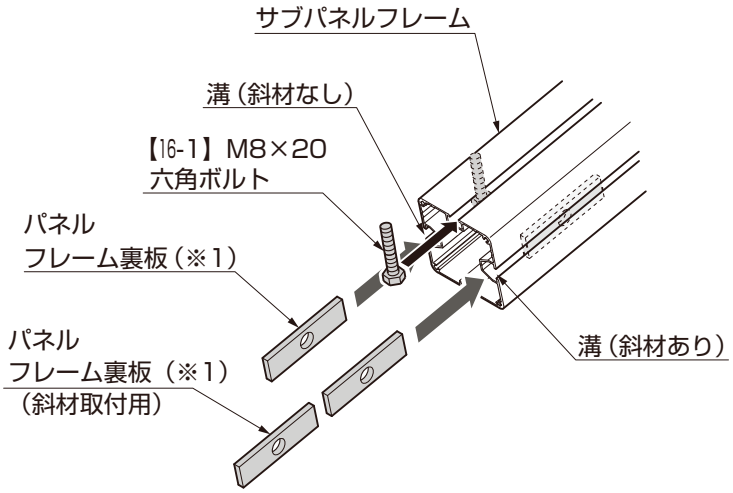




①屋根に対してサポートレッグが垂直になっているかを角度計などで確認してください。（※3）

3. サブパネルフレームの取付け　※図は、間口30タイプを示します。

3-1　サブパネルフレームの組立て



①パネルフレーム裏板をサブパネルフレームの両側の溝に挿入してください。

②【16-1】をサブパネルフレーム上部の溝に挿入してください。

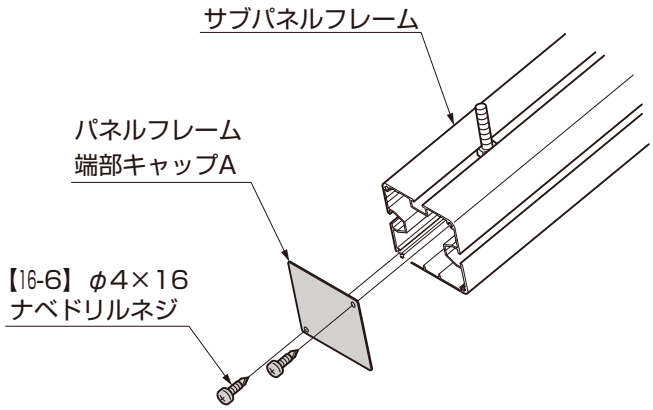
表3-1　サブパネルフレーム部材挿入個数

	パネルフレーム裏板枚数（※1）		【16-1】M8×20 六角ボルト
	斜材あり	斜材なし	
間口30	4	3	6
間口55 間口60	7	5	12

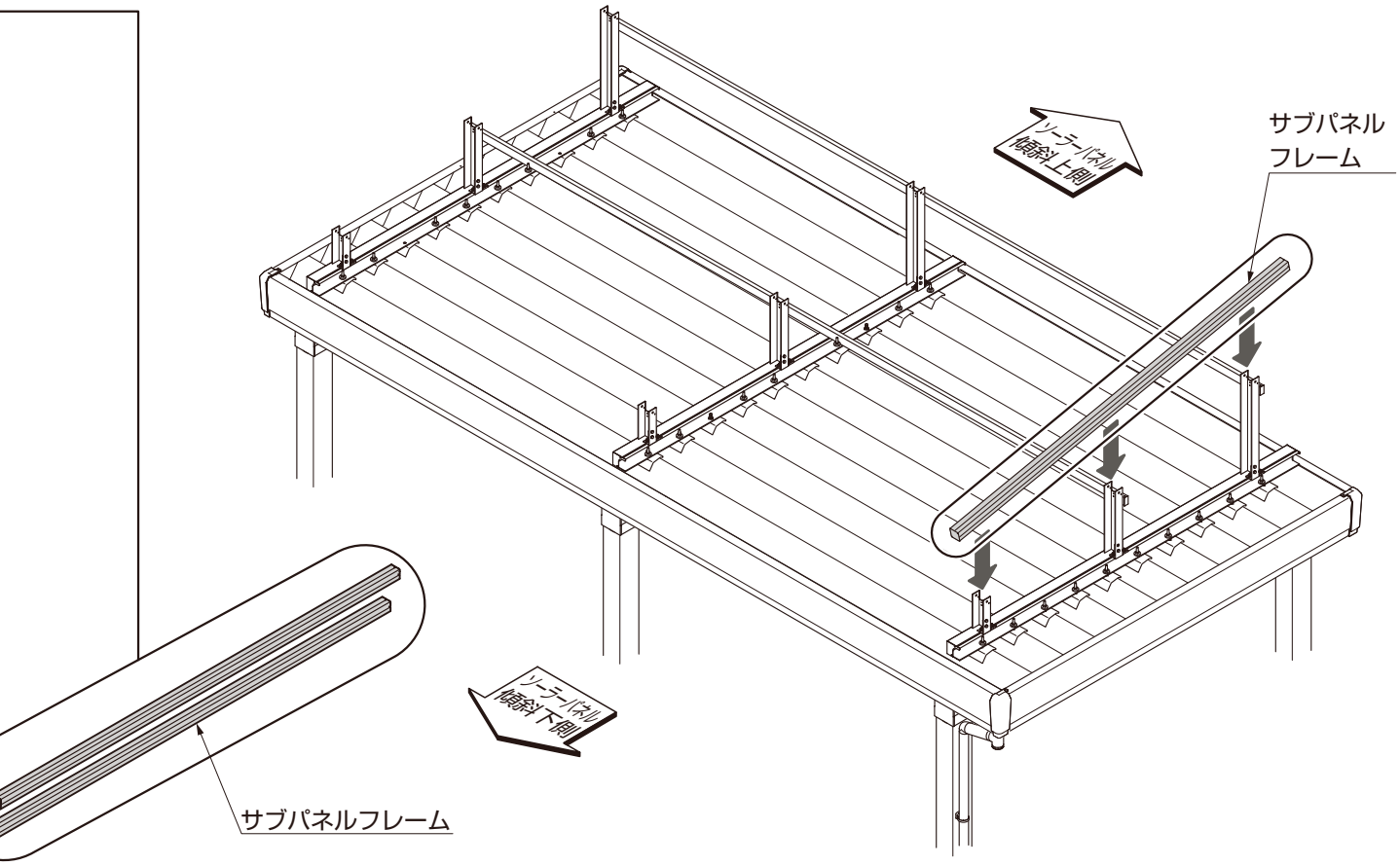
※1：溝1列あたりの数量です。
　　サブパネルフレーム1本につき溝は2列あります。

ポイント

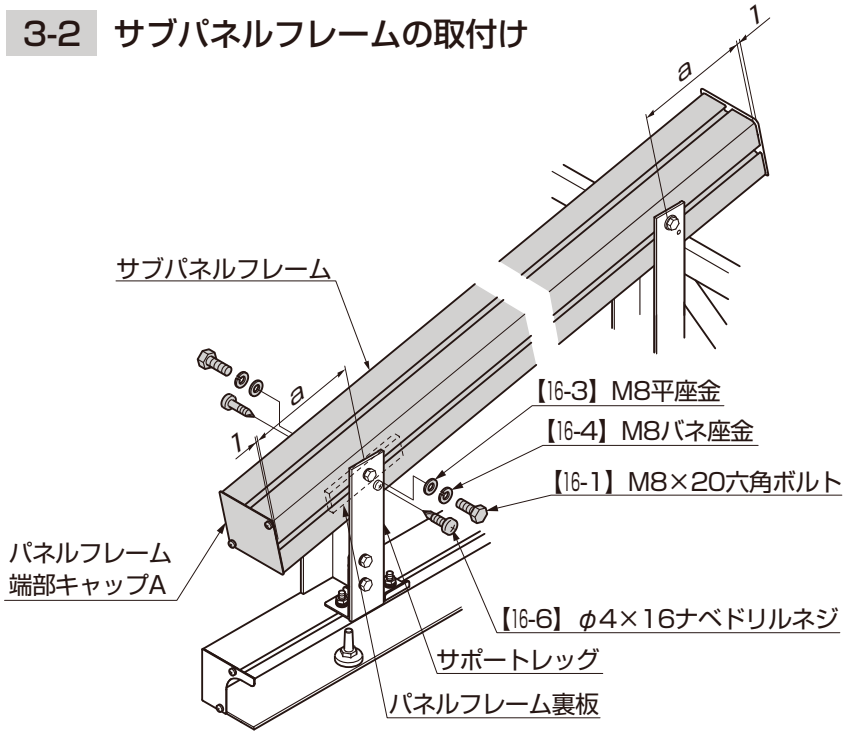
- パネルフレーム裏板を挿入する枚数は、場所により異なります。（表3-1参照）
- パネルフレームに取付ける斜材には有無がありますので「3 フレーム部材配置図　1-2 間口傾斜」を参照して取付け位置を確認してください。



③パネルフレーム端部キャップAをサブパネルフレームに【16-6】で取付けてください。



3-2 サブパネルフレームの取付け



①サブパネルフレームに挿入したパネルフレーム裏板をサポートレッグに【16-1】、【16-3】、【16-4】で取付けてください。

②a寸法を調整して、【16-6】で取付けてください。

ポイント

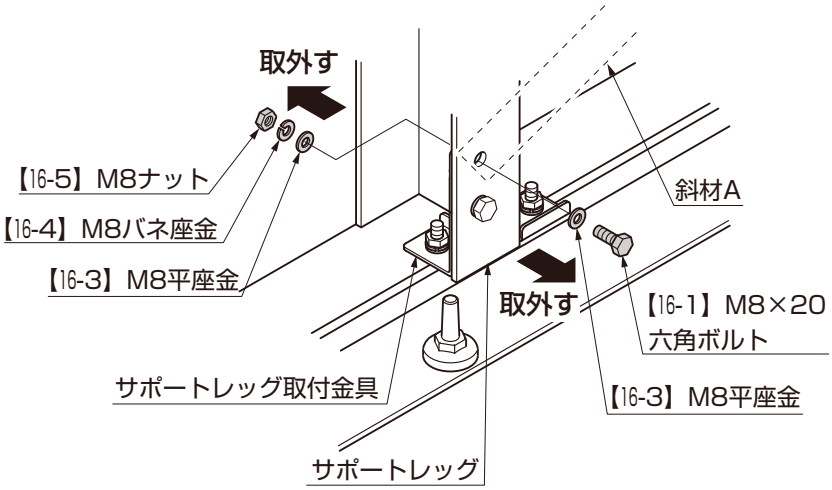
●サブパネルフレームを取付ける際は、パネルフレーム裏板を斜材取付け位置に移動してから取付けてください。

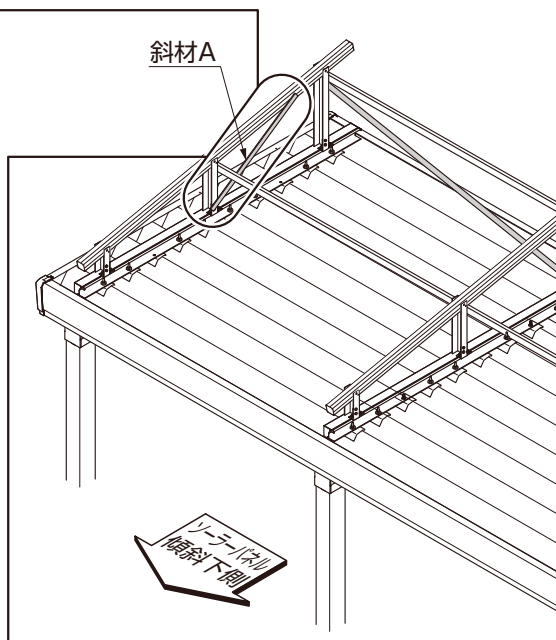
表3-2　a寸法表

	a
間口30	77
間口55	55
間口60	55

4. 斜材の取付け　※図は、間口30タイプを示します。

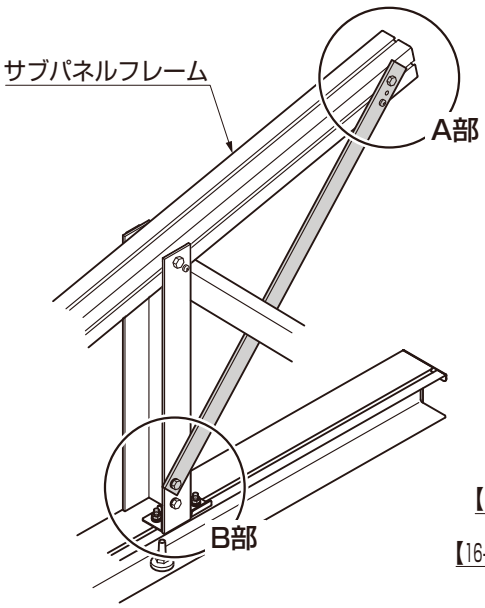
4-1　ベースフレーム側斜材取付け用ボルトの取外し





①斜材を取付けるサポートレッグ取付金具の上側の【16-1】、【16-3】、【16-4】、【16-5】を取外してください。

4-2　ベースフレーム側斜材の取付け



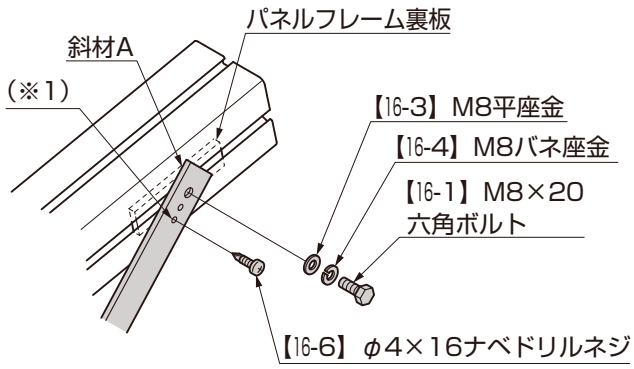


図4-1　A部取付け詳細図

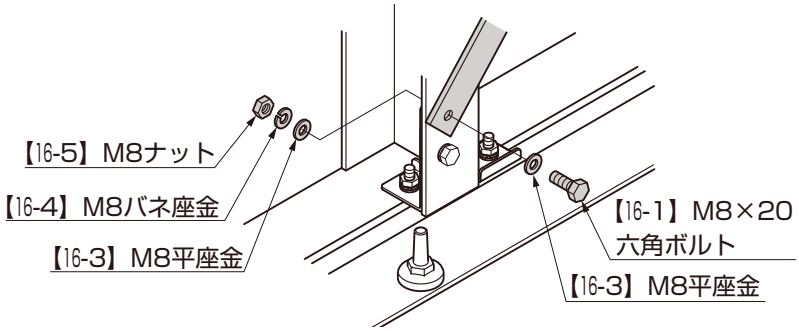
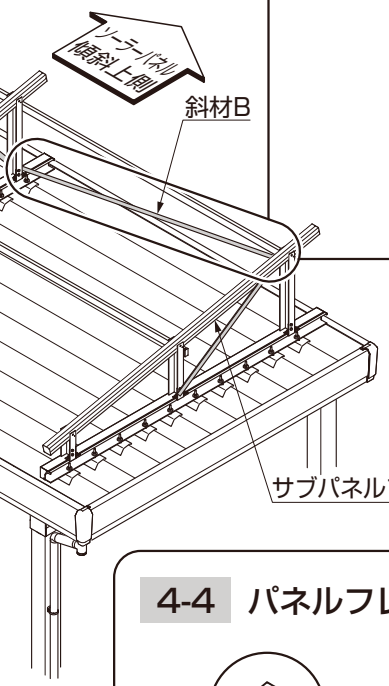


図4-2　B部取付け詳細図

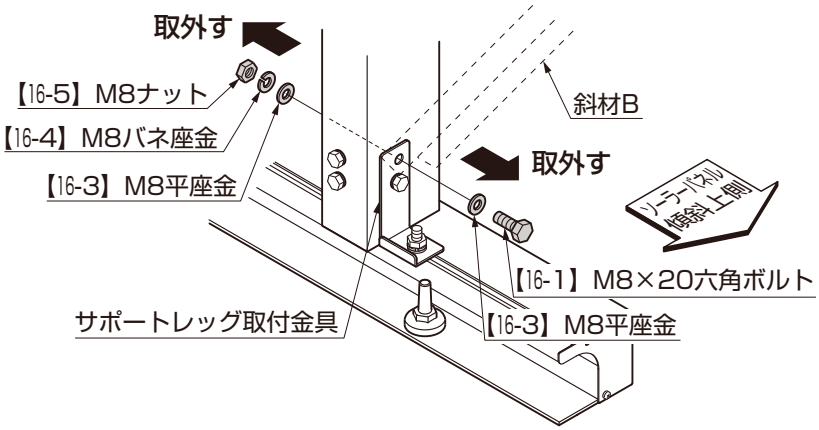
①斜材A下側をサポートレッグ取付金具に【16-1】、【16-3】、【16-4】、【16-5】で取付けてください。（図4-2参照）
②斜材A上側をサブパネルフレームに組付けた、パネルフレーム裏板に【16-1】、【16-3】、【16-4】、【16-6】で取付けてください。（図4-1参照）

ポイント

●サブパネルフレームと斜材Aを取付ける【16-6】は斜材の下側の穴（※1）に取付けてください。（図4-1参照）

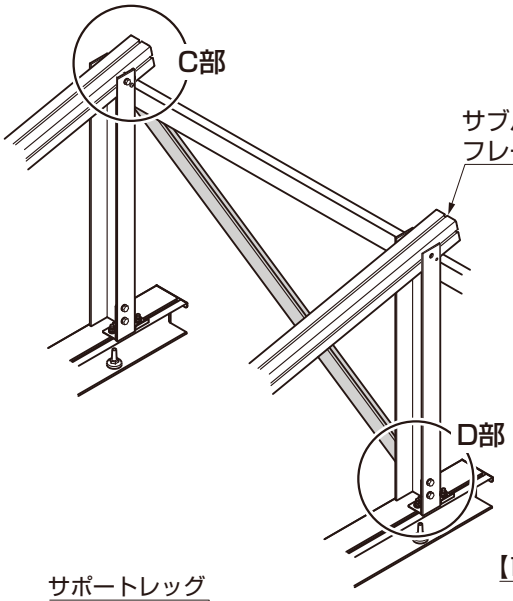


4-3 パネルフレーム側斜材取付け用ボルトの取外し



①斜材Bを取付けるサポートレッグ取付金具の上側の【16-1】、【16-3】、【16-4】、【16-5】を取外してください。

4-4 パネルフレーム側斜材の取付け



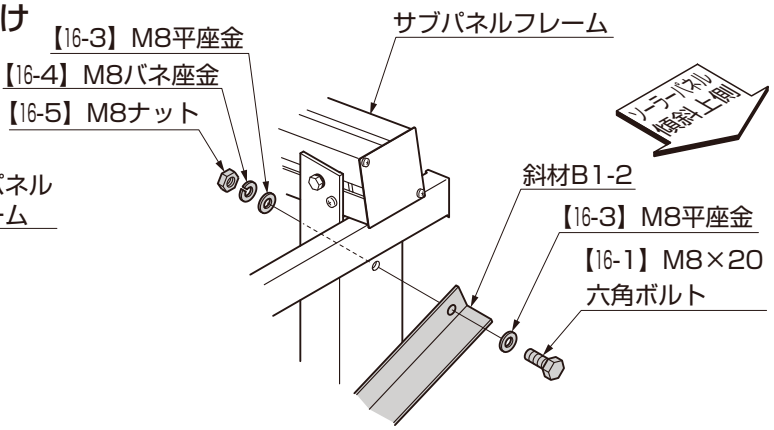
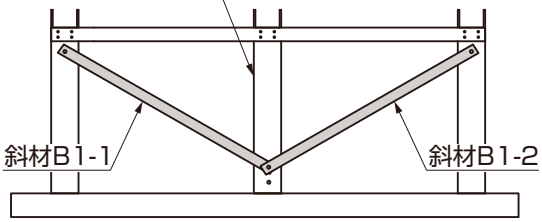


図4-3
C部取付け詳細図



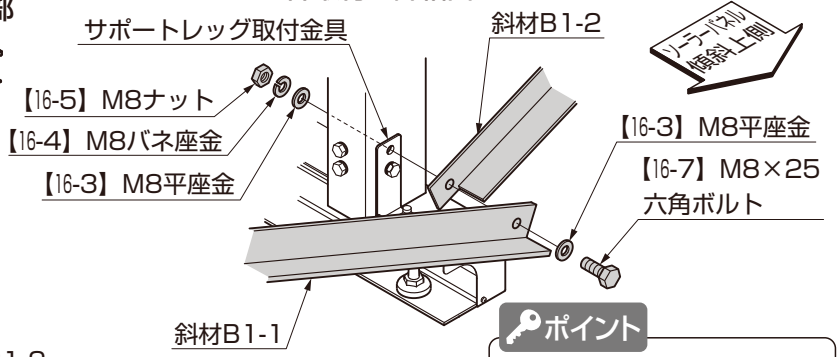


図4-4
D部取付け詳細図

ポイント
●下側のボルトは【16-7】を使用してください。

①斜材B1-2、B1-1の上側をサポートレッグの上側に【16-1】、【16-3】、【16-4】、【16-5】で取付けてください。(図4-3参照)
②斜材B1-2、B1-1をサポートレッグ取付金具の上側に【16-7】、【16-3】、【16-4】、【16-5】で取付けてください。(図4-4参照)

5. パネルフレームの取付け　※図は、間口30タイプを示します。

パネルフレーム

1022 (※2)

1022 (※2)

ソーラーパネル傾斜上側

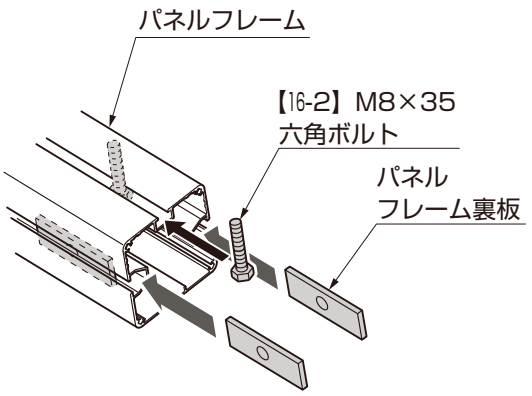
パネルフレーム取付金具

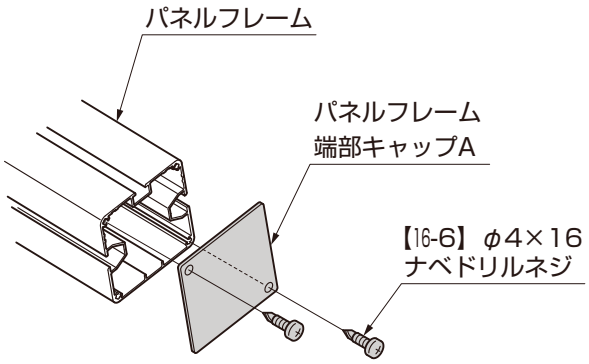
ソーラーパネル傾斜下側

パネルフレーム

サブパネルフレーム

5-1 パネルフレームの組立て





①パネルフレーム裏板をパネルフレームの両側の溝に片側3枚挿入してください。
②【16-2】をパネルフレームの上側に6本挿入してください。

③パネルフレーム端部キャップAをパネルフレームに【16-6】で取付けてください。

5-2 パネルフレームの取付け

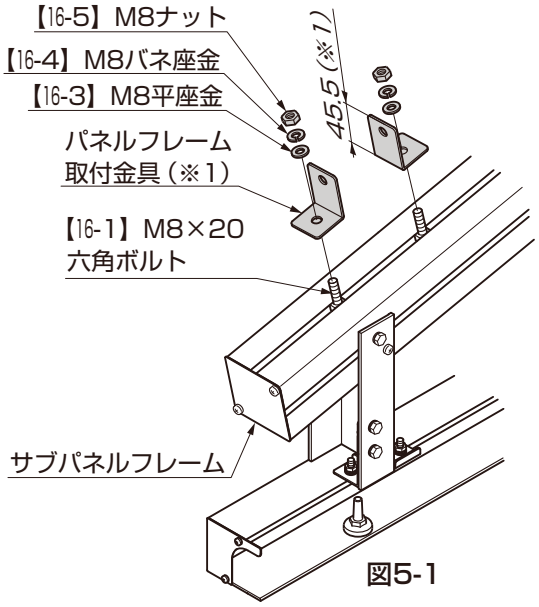


図5-1

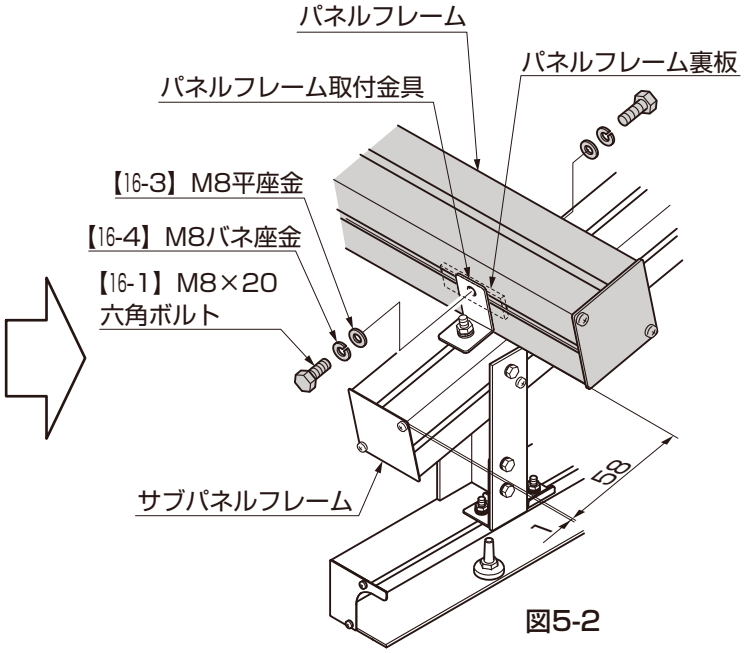


図5-2

①パネルフレーム取付金具をサブパネルフレームに【16-1】、【16-3】、【16-4】、【16-5】で取付けてください。

②パネルフレームに挿入したパネルフレーム裏板をパネルフレーム取付金具に【16-1】、【16-3】、【16-4】で取付けてください。

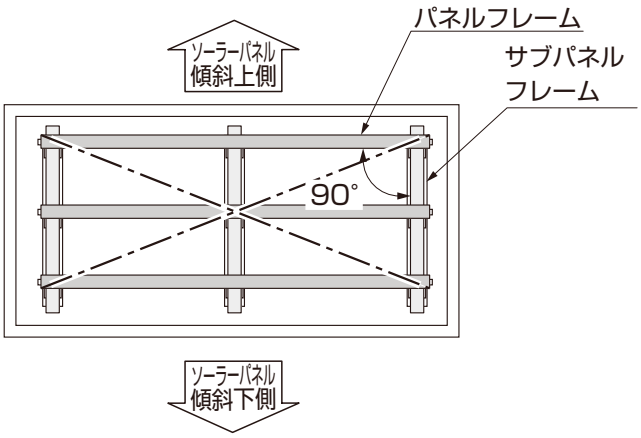
ポイント

●パネルフレーム取付金具はに「向き」があります。図5-1確認して取付けてください。（※1）

ポイント

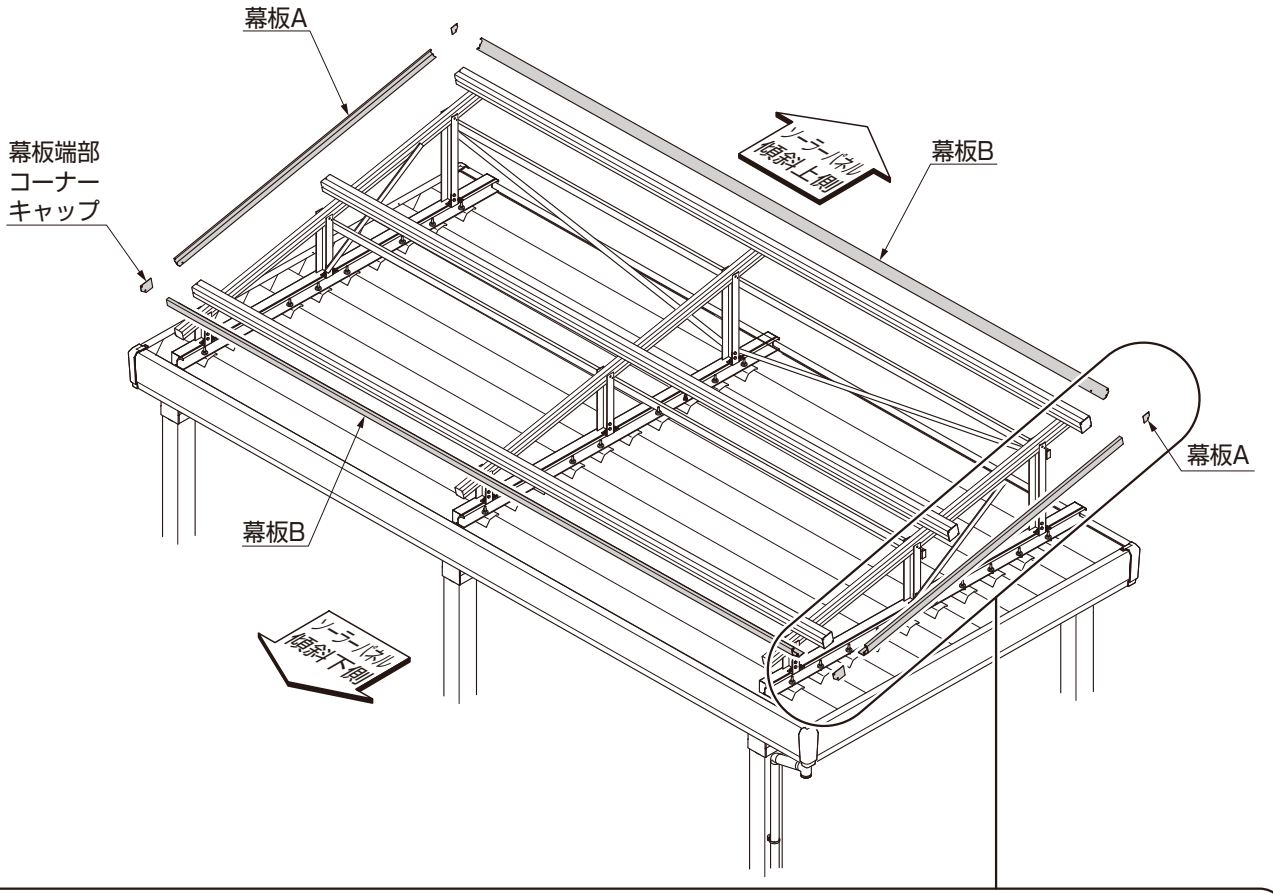
●パネルフレームのピッチが1022mm（※2）になっているか確認してください。ソーラーパネルが取付かないおそれがあります。

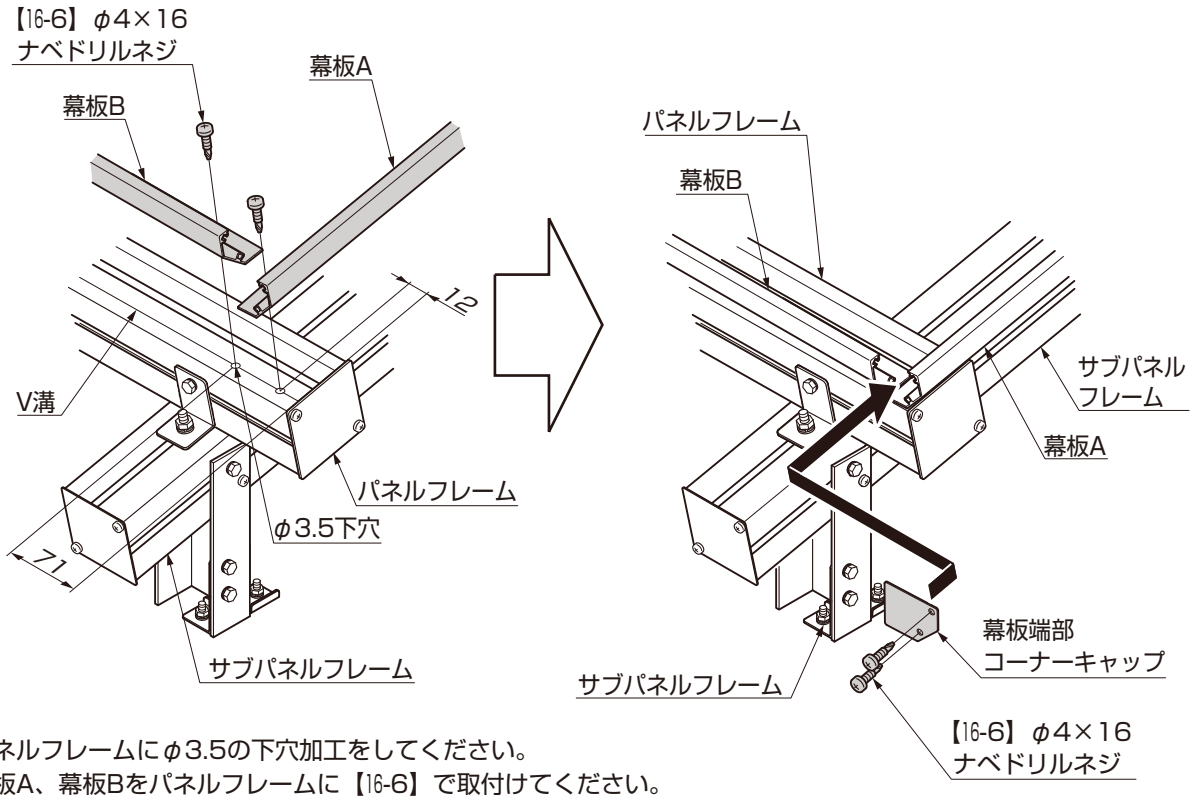
5-3 架台の対角出し



①架台寸法の対角寸法を採寸し、パネルフレームとサブパネルフレームの直角を確認してください。

6. 幕板の取付け　※図は、間口30タイプを示します。





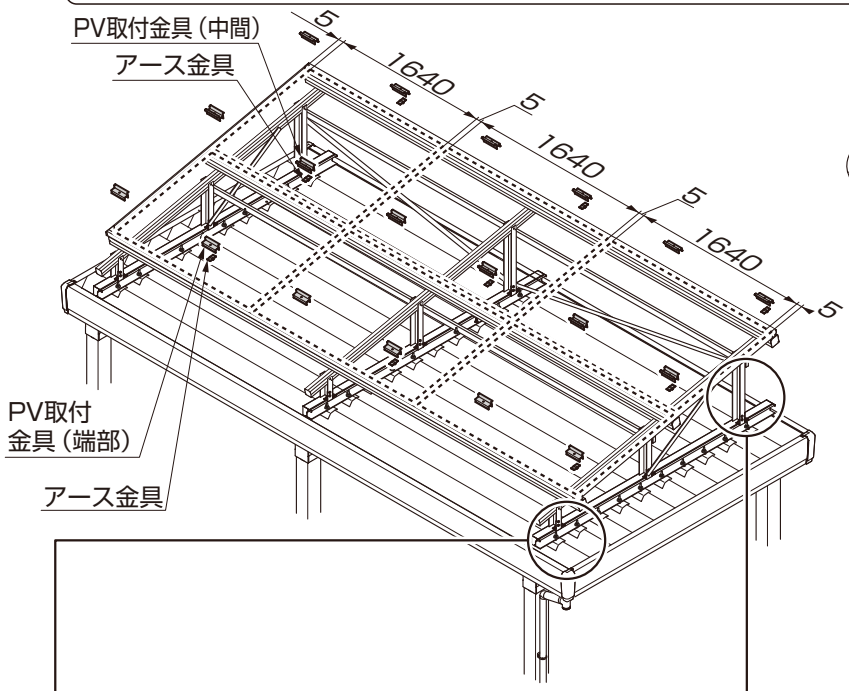
①パネルフレームにφ3.5の下穴加工をしてください。
②幕板A、幕板Bをパネルフレームに【16-6】で取付けてください。
③幕板端部コーナーキャップを幕板Aに【16-6】で取付けてください。

7. PV取付金具の仮止め

※本手順は架台を取付ける施工者とソーラーパネル施工者が異なる場合に部品の紛失を防止するための作業です。
※図は、間口30タイプを示します。

ポイント

●PV取付金具、アース金具の取付位置は「3 フレーム部材配置図 1-3 PV取付金具取付け位置 」を参照して取付けてください。



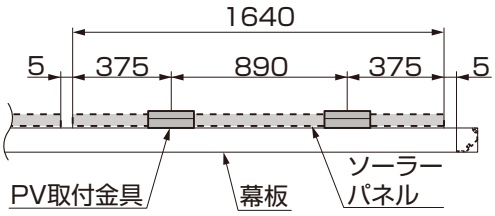


図7-1　奥行方向取付寸法

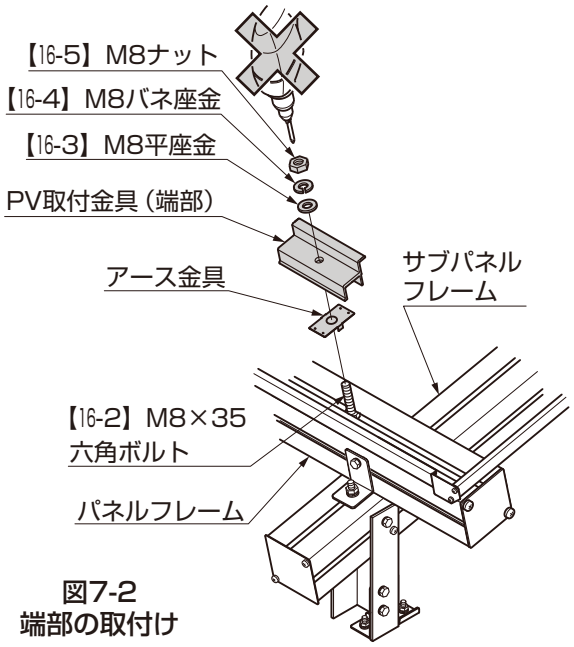


図7-2
端部の取付け

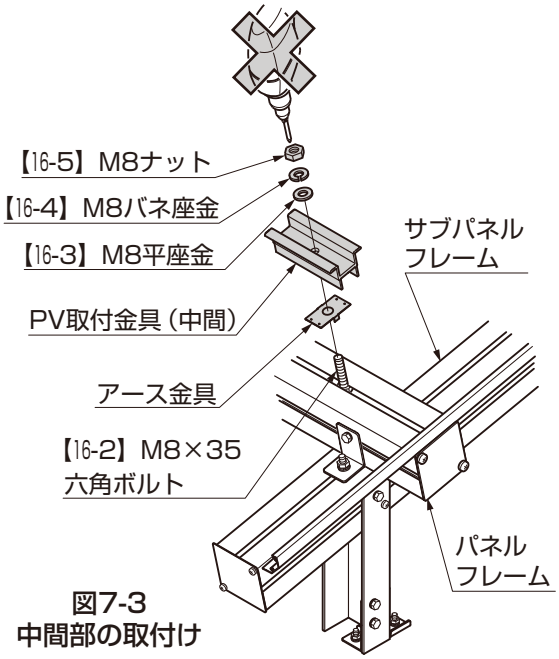


図7-3
中間部の取付け

①PV取付金具、アース金具をパネルフレームに挿入した【16-2】に【16-3】、【16-4】、【16-5】で取付けてください。

注 意

●感電防止のため、アース金具は必ず取付けてください。

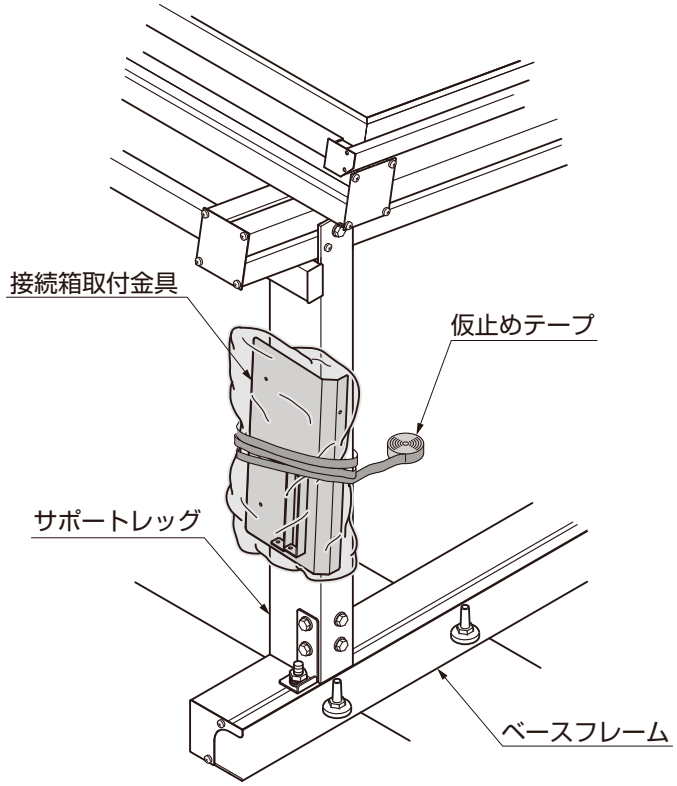
補 足

●PV取付金具はソーラーパネルを取付けるため、仮止めとしてください。電動工具は使用しないでください。

6　接続箱取付金具の仮置き

ポイント

●屋内用パワーコンディショナーを現場で別途使う場合の作業です。
オプションの接続箱を梁に固定する場合、この作業を行なってください。



①接続箱取付金具をサポートレッグに仮止めテープで仮置きしてください。

メモ

7　施工完了チェックリスト

NO	確認項目	確認ページ	チェック
①	パネルフレームのピッチは 1022mmで取付けられてますか?	2　基本寸法と各部名称 2.基本寸法 (P.11～P.12)	はい ・ いいえ
②	PV取付金具はもれなく 仮止めされてますか?	**奥行傾斜** 4　奥行傾斜架台の取付け 5. PV取付金具の仮止め (P.25) **間口傾斜** 5　奥行傾斜架台の取付け 7. PV取付金具の仮止め (P.37)	はい ・ いいえ
③	斜材の取付け漏れは ないですか?	**奥行傾斜** 3　フレーム部材配置図 1-1 奥行傾斜 (P.13) **間口傾斜** 3　フレーム部材配置図 1-2 間口傾斜 (P.14)	はい ・ いいえ
④	接続箱取付金具をサポートレッグに 仮置きしましたか? ※屋内用パワーコンディショナーを 現場で別途使う場合の作業です。	6　接続箱取付金具の仮置き (P.38)	はい ・ いいえ